



Home Projector

EF-11

マニュアル中の表示の意味	5
プロジェクターを使用する前に	8
プロジェクターの各部名称と働き プロジェクターの各部名称 - 前面/上面	
プロジェクターを準備する	13
プロジェクターの設置 プロジェクターの設置・取り付け 設置時のご注意 投写距離 プロジェクターをVESA対応製品や三脚に取り付ける	14
プロジェクターを接続する ビデオ機器を接続する USB機器を接続する USB機器を取り外す ヘッドフォンを接続する リモコンに電池を取り付ける リモコンを操作する	20 20 20 21 21 21 23 23
プロジェクターの基本機能を使用する	25

26
28
29

設置モードを選択する	30
メニューから設置モードを変更する	30
映像の高さを調整する	31
映像の形状を補正する	32
自動タテ補正	32
台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する	32
Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する	33
フォーカスレバーで映像のピントを調整する	35
映像の大きさを調整する	36
投写映像を切り替える	37
映像を最適化する(カラーモード)	38
カラーモードを変更する	38
カラーモードの種類	38
映像の光量を調整する	39
シャープネスを調整する	40
映像の色合いを調整する	41
色温度を調整する	41
RGBを調整する(オフセット・ゲイン)	41
色相、彩度、明度を調整する	42
ガンマを調整する	43
光源の明るさを設定する	45
プロジェクターの設定をメモリーに保存する	46
音量ボタンで音量を調整する	47
サウンドモードを切り替える	48
サウンドモードの種類	48
プロジェクターの便利た機能	70

ノロシェクターの使利な筬能		

HDMIリンク機能	50
HDMIリンク機能を使って接続機器を操作する	50

PC Free機能で投写する	52
サポートファイル形式	52
PC Free使用時の注意事項	53
PC Freeのスライドショーを開始する	53
PC Freeで動画を投写する	54
PC Freeの表示オプション	55
モバイルデバイスからのワイヤレス投写(Screen Mirroring)	. 57
モバイルデバイスからのワイヤレス投写(Screen Mirroring) Screen Mirroringを設定する	. 57
モバイルデバイスからのワイヤレス投写(Screen Mirroring) Screen Mirroringを設定する Miracast機能を使ってScreen Mirroring接続する	. 57 57 58
モバイルデバイスからのワイヤレス投写(Screen Mirroring) Screen Mirroringを設定する Miracast機能を使ってScreen Mirroring接続する 映像と音声を一時的に遮断する(A/Vミュート)	. 57 57 58 60

メニューの設定 62

プロジェクターメニューを操作する	63
ソフトキーボードを操作する	64
ソフトキーボードで入力可能な文字	64
画質・映像メニュー	65
設定メニュー	67
設定メニュー - Screen Mirroring設定	69
情報メニュー	70
情報メニュー - プロジェクター情報	70
初期化メニュー	72
メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする(一括設定機	
能)	73
USBメモリーを使って一括設定する	73
コンピューターを使って一括設定する	74
一括設定でエラーが発生したときは	75

76
77
79
80
80
80

困ったときに 82

トラブルの対処方法	83
インジケーターの見方	
電源に関するトラブル	
電源が入らない	
予期せず電源が切れる	
映像に関するトラブル	
映像が表示されない	
映像がゆがむ	
映像がぼやける	88
映像の一部が表示されない	
映像にノイズが入る、乱れる	89
映像の明るさや色合いが違う	89
映像が上下反転して表示される	89
音声に関するトラブル	
リモコン操作に関するトラブル	
HDMIリンクに関するトラブル	92
Screen Mirroringに関するトラブル	
Screen Mirroringで接続できない	
Screen Mirroringの映像にノイズが入る、乱れる	

付録

オプション・消耗品一覧	
設置用金具	
外付けオプション	
消耗品	
スクリーンサイズと投写距離	
対応解像度	
本機什様	
ACアダプター	
接続端子	
外形寸法図	101
女主況恰刈心シノホルマークと説明	102
レーザー製品を安全にお使いいただくために	
レーザー警告ラベル	
用語解説	105
一般のご注意	
ー 使用限定について	
本機を日本国外へ持ち出す場合の注意	
瞬低(瞬時電圧低下)基準について	
JIS C 61000-3-2適合品	
商標について	
ご注意	
著作権について	

マニュアル中の表示の意味

安全に関する表示

本製品および取扱説明書には、製品を安全にお使いいただくために絵表示が使われています。

人体への危害や財産への損害を防ぐために、次の絵表示で表記された説明は、内容をよくお読みいただいた上で、説明に従ってお取り扱いください。

▲ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
▲ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容 を示しています。

一般情報に関する表示

	注意して取り扱わないと、本機の故障や損傷の原因となるおそれがある内容を記載しています。
注意	
	知っておくと便利な関連情報を記載しています。
○ ボタン	リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。
	例: ^(Enter) ボタン
[メニュー名/設定名]	プロジェクターのメニューや設定の名称を示しています。
	例:
	[画質・映像]メニューを選択する
	☞ [画質・映像] > [色設定]
► ►	関連事項を記載しているページを示しています。
(C)	プロジェクターのメニューの階層を示しています。

マニュアルの使い方と情報の探し方

PDFマニュアルでは、探したい情報のキーワードから該当箇所を検索したり、しおりから直接ジャンプしたりすることができます。また、必要なページ だけ印刷することもできます。ここでは、PDFマニュアルをコンピューターのAdobe Reader Xで開いた場合の使い方を説明します。

キーワードで検索する

[編集]メニューの[高度な検索]をクリックします。検索ボックスに探したい情報のキーワード(語句)を入力して、 [検索]をクリックします。 キーワードの該当箇所が一覧で表示されます。表示された文字列をクリックすると、該当ページにジャンプします。



しおりから直接ジャンプする

タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。 [+] または [>] をクリックすると下の階層のタイトルが表示されます。ジャンプ前のページ に戻りたいときは、キーボードで以下の操作をします。

- ・Windows: [Alt] キーを押したまま [←] キーを押します。
- ・Mac OS: commandキーを押したまま [←] キーを押します。



必要なページだけ印刷する

紙で読みたいページだけを抜き出して印刷できます。 [ファイル] メニューの [印刷] をクリックして、 [印刷するページ] の [ページ指定] で印刷し たいページを指定します。

・連続したページの指定は、開始ページと終了ページの間にハイフンを入れます。

例:20-25

・連続していない複数ページの指定は、ページをカンマで区切ります。

例:5,10,15



プロジェクターを使用する前に

本機の各部名称について説明します。

▶ 関連項目

・「プロジェクターの各部名称と働き」 p.9

本機の各部名称とその働きについて説明します。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターの各部名称 前面/上面」 p.9
- ・「プロジェクターの各部名称 背面」 p.10
- ・「プロジェクターの各部名称 底面」 p.10
- ・「プロジェクターの各部名称 リモコン」 p.11

プロジェクターの各部名称 - 前面/上面



名称		働き
0	リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
2	吸気口	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。
3	投写レンズ	ここから映像を投写します。
4	吸気口(エアフィル ター)	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。

名称		ī	働き	
	5	セキュリティース ロット	Kensington社製のマイクロセーバーセキュリ ティーシステムに対応したセキュリティースロッ トです。	
	6	ACアダプター端子	ACアダプターを接続します。	
	0	HDMI端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターの信 号を入力します。 本機はHDCPに対応しています。	
¢	8	USB-A端子	USBメモリーやデジタルカメラを接続して、動画 や画像をPC Freeで投写します。 接続した機器に電源を供給します。(5V/2A) PC Free機能と電源供給機能を同 時に使用することはできません。	
	9	Service端子	通常は使用しません。	
(D	Audio Out端子	投写中の入力ソースの音声をヘッドフォンに出力 します。	
(D	ステータスインジ ケーター	本機の状態を表示します。	
	2	電源ボタン	本機の電源をオン/オフします。	
	3	フォーカスレバー	映像のピントを合わせます。	

▶ 関連項目

- ・「リモコンを操作する」 p.23
- ・「インジケーターの見方」 p.84
- ・「フォーカスレバーで映像のピントを調整する」 p.35
- •「ビデオ機器を接続する」 p.20
- •「USB機器を接続する」 p.20
- ・「ヘッドフォンを接続する」 p.21
- ・「セキュリティーケーブルを取り付ける」 p.61

プロジェクターの各部名称と働き

プロジェクターの各部名称 - 背面



名称		働き	
0	スピーカー	音声を出力します。	
2	排気口	本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。	
			♪ 注意 投写中は手や顔を排気口に近づけたり、熱 による悪影響を受けるものを排気口の近く に置かないでください。排気口から温風が 出るため、やけどや変形、事故の原因とな ります。

プロジェクターの各部名称 - 底面



名称		働き
0	フットレバー	フットレバーを押して、フロントフットを伸縮さ せます。
2	吸気口	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。
3	マウントプレート固 定部	同梱、またはオプションのマウントプレートをこ こに取り付けます。
4	スピーカー	音声を出力します。

プロジェクターの各部名称と働き

名称		働き
5	リアフット(マウン トプレート固定部)	2つのフットを反時計回りに回して外し、同梱、 またはオプションのマウントプレートを取り付け ます。
6	エアフィルターカ バー	エアフィルターの清掃・交換時に開閉します。
7	フロントフット	机上設置時に、フットを伸ばして映像の高さを調 整します。

▶ 関連項目

- ・「エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする」 p.80
- ・「プロジェクターをVESA対応製品や三脚に取り付ける」 p.17
- 「映像の高さを調整する」 p.31

プロジェクターの各部名称 - リモコン



プロジェクターの各部名称と働き

名称		働き	
0	電源ボタン (し)	本機の電源をオン/オフします。	
2	上下左右ボタン ・ ・ ・	メニューの表示中に押すと、メニュー項目を選択 します。	
3	決定ボタン (Enter	メニューの表示中に押すと、選択項目を決定し て、次の階層に進みます。	
4	再生操作ボタン	HDMI CEC規格対応のビデオ機器を操作します。	
5	メニューボタン	メニュー画面を表示/終了します。投写画面に表示 されるメニューを使って、本機の各種動作を設定 します。	
6	A/Vミュートボタン (私)	映像と音声を一時的に遮断します。	
7	音量上げ/下げボタ ン (切)(切))	スピーカーやヘッドフォンの音量を調整します。	
8	台形補正ボタン	[台形補正]調整画面、または[Quick Corner] 選択画面を表示します。	
9	入力検出ボタン (王)	映像信号が入力されている入力ソースに順番に切 り替えます。	

名称		働き
0	戻るボタン う	実行中の機能を終了します。 メニューの表示中に押すと、前のメニュー階層に 戻ります。
0	リモコン発光部	リモコン信号を出力します。

▶ 関連項目

- ・「映像を最適化する(カラーモード)」 p.38
- ・「台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する」 p.32
- 「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 p.33
- ・「プロジェクターの電源を入れる」 p.26
- ・「音量ボタンで音量を調整する」 p.47
- ・「映像と音声を一時的に遮断する(A/Vミュート)」 p.60
- ・「プロジェクターメニューを操作する」 p.63

プロジェクターを準備する

プロジェクターの準備方法を説明します。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターの設置」 p.14
- ・「プロジェクターを接続する」 p.20
- ・「リモコンに電池を取り付ける」 p.23

平らな場所にプロジェクターを置いて映像を投写します。

プロジェクターを常に特定の位置に固定して使用することもできま す。市販の三脚やVESA規格対応金具に取り付けるときは、オプショ ン、または同梱のマウントプレートが必要です。

本機はさまざまな角度で映像を投写できます。垂直、水平方向ともに設置角度に制限はありません。



プロジェクターの設置位置を決めるときは、以下の点に注意してくだ さい。

・プロジェクターは水平で安定した場所に置くか、本製品に対応した 金具を使用して取り付けます。



- ・通気のためにプロジェクターの周囲に十分なスペースを確保します。通気の妨げになるものをプロジェクター上面や周囲に置かないでください。
- ・投写面に対してプロジェクターを平行に設置します。





投写面に対して平行に設置できないときは、台形補正機能を 使って映像を補正します。投写映像の画質を維持するために は、プロジェクターの設置位置を調整して映像サイズや形状を 調整することをお勧めします。

プロジェクターの設置

\Lambda 警告

- ・ 天井からプロジェクターを吊り下げるときは、天吊り金具の取り付けが 必要となります。プロジェクターを正しく設置しないと、落下により破 損やけがの原因となることがあります。
- ・プロジェクターのマウントプレート固定部に、ネジゆるみ止め用接着 剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。プロジェクターにそれらの溶剤が付着すると、プロジェクターのケースが割れ、天吊り金具から プロジェクターが落下するおそれがあります。
- マウントプレート、天吊り金具、およびプロジェクターの取り付け不備 は、プロジェクターの落下事故につながるおそれがあります。VESA規格 (75 x 75 mm)に準拠した金具と、オプションまたは同梱のマウントプ レートを使用し、プロジェクターと金具を確実に固定してください。ま た、十分強度のあるワイヤーなどを使ってプロジェクターと金具を固定 してください。
- ・ 湿気やホコリの多い場所や、油煙や湯気が当たる場所(調理場所、ご家庭のキッチン、加湿器の近くなど)にプロジェクターを設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、油によりプロジェクターの外装ケースが劣化し、天吊り設置したプロジェクターが落下するおそれがあります。
- 外装ケースの劣化・破損によりプロジェクターの落下が想定される環境 例
- ・油煙が多い場所(工場、調理場所、ご家庭のキッチンなど)
- ・溶剤、薬品が揮発している空間(工場、実験室など)
- ・油、洗剤、薬品などが付着する場所(工場、調理場所、ご家庭のキッ チンなど)
- アロマオイルを頻繁に焚く場所(リラクゼーションルームなど)
- ・イベント演出などのスモーク(油成分以外も含む)や、泡が多い場所 (イベント演出装置の周辺など)

\Lambda 警告

- ・本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさ ぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ホコリや塵の多い場所で使用・保管はしないでください。投写映像の品 質が劣化したり、エアフィルターにホコリが詰まって、故障や火災につ ながることがあります。
- 不安定な場所や荷重範囲を超える場所には設置しないでください。落下 や転倒によりけがや事故の原因となります。
- 高い場所に設置するときは、地震などの非常時の安全確保と事故防止のため、ワイヤーなどを用いて落下防止策を施してください。正しく設置しないと、落下によりけがや事故の原因となります。
- ・塩害が発生する場所や、温泉の硫黄ガスなどの腐食性ガスが発生する場所には設置しないでください。腐食による落下の原因となることがあります。また、本機の故障の原因となることがあります。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターの設置・取り付け」 p.15
- 「投写距離」 p.16
- ・「プロジェクターをVESA対応製品や三脚に取り付ける」 p.17
- 「映像の形状を補正する」 p.32
- ・「設定メニュー」 p.67
- 「映像の高さを調整する」 p.31
- 「映像の大きさを調整する」 p.36
- ・「フォーカスレバーで映像のピントを調整する」 p.35

プロジェクターの設置・取り付け

本機は以下の方法で設置・取り付けできます。

プロジェクターの設置

フロント/リア



フロント・上下反転/リア・上下反転





▶ 関連項目

- ・「設置時のご注意」 p.16
- ・「設置モードを選択する」 p.30

設置時のご注意

設置の際には以下の点にご注意ください。

設置スペース



\Lambda 注意

同梱のACアダプターは、本機から30 cm以上離して設置してください。本 機からの熱によってACアダプターが高温になると、本機が正しく動作しな いことがあります。

投写距離

本機からスクリーンまでの距離に応じて、映像の大きさが決まりま す。本機をスクリーンから遠ざけるほど、投写される映像は大きくな ります。アスペクト比などの設定によっても大きさが変わります。

プロジェクターの設置

下図を参考にして、本機からスクリーンまでのおおよその距離を決め てください。



台形補正後は、映像が少し小さくなります。



▶ 関連項目

・「スクリーンサイズと投写距離」 p.97

プロジェクターをVESA対応製品や三脚に取り付ける

オプション、または同梱のマウントプレート(ELPMB65)を使って、 本機をVESA規格対応金具や三脚に取り付けることができます。

- VESA規格(75 × 75 mm)に準拠した市販の金具をご用意くだ さい。
 - ・ 三脚は、1/4-20UNCサイズの固定ネジで取り付けられるものを ご用意ください。
 - ・天井などの高い位置に設置するときは、安全のため、オプションのセーフティーワイヤーセット(ELPWR01)を取り付けます。

底面を上にします。

 \langle

2つのリアフットを反時計回りに回して取り外します。



- 3 天井などの高い位置に設置するときは、オプションのセーフ ティーワイヤーセット (ELPWR01) をマウントプレートに通しま す。



4 マウントプレートに同梱のネジを使って、マウントプレートを本 機に固定します。



▲ 注意

手順2で取り外したリアフットを使って固定しないでください。リア フットがゆるみ、本機が落下するおそれがあります。

5 本機をVESA規格対応金具や三脚に取り付けます。詳しくは、金 具や三脚に付属の取扱説明書をご覧ください。

▲ 注意

三脚に取り付けるときは、三脚のネジで確実に固定してください。 逆さにするなど無理な位置で使用すると、固定ネジがゆるみ、本機 が落下するおそれがあります。



天井などの高い位置に設置するときは、オプションのセー フティーワイヤーセット (ELPWR01) のカラビナを、十分 な強度のある場所につなぎます。



6 必要に応じて、マウントプレートに同梱のACアダプターホル ダーを使って、ACアダプターを壁や天井に固定します。





壁や天井の素材に応じて、M4×8-10サイズのネジをご用意 ください。

プロジェクターと映像機器の接続方法を説明します。



接続する前に、使用するケーブルのコネクターの形状と向きを確認してく ださい。形状が合わないコネクターを無理に端子に押し込まないでくださ い。お使いの機器、プロジェクターの破損や故障の原因となります。



本機に同梱されているケーブルは、『かんたん操作ガイド』で 確認できます。同梱されていないケーブルは、オプション品ま たは市販品をお買い求めください。

▶ 関連項目

- ・「ビデオ機器を接続する」 p.20
- 「USB機器を接続する」 p.20
- ・「ヘッドフォンを接続する」 p.21

ビデオ機器を接続する

HDMI端子を搭載したビデオ機器があれば、HDMIケーブルでプロジェ クターとビデオ機器を接続して映像と音声を出力できます。



- ビデオ機器のHDMI出力端子にHDMIケーブルを接続します。
- 2 ケーブルのもう一方のコネクターを本機のHDMI端子に接続します。



USB機器を接続する

以下のUSB機器をプロジェクターに接続すると、コンピューターやビデオ機器を接続しなくても映像を投写できます。

- ・USBメモリー
- ・デジタルカメラ、スマートフォン
- ・USBハードドライブ

プロジェクターを接続する



 デジタルカメラ、スマートフォンはUSBマスストレージクラス に準拠したUSB機能が搭載されている必要があります。TWAIN 準拠の機器では投写できません。

- USBハードドライブは以下の要件を満たしている必要があります。
 - USBマスストレージクラスに準拠していること(対応してい ないUSBマスストレージクラスの機器もあります)
 - ・フォーマット形式がFAT16/32であること
 - USBハードドライブに付属のACアダプターから電源供給がで きること(USBケーブルから電源供給を受けるハードドライ ブは推奨しません)
 - ・ハードドライブのパーティションは1つのみであること
- USB機器に電源アダプターが付属しているときは、USB機器をコンセントに接続します。



本機のUSB-A端子にUSBケーブル(またはUSBメモリー)を接続します。



注意

- ・USB機器に付属のUSBケーブル、または指定されたUSBケーブルを 使用してください。
- ・USBハブや長さが3メートル以上のUSBケーブルを使用しないでくだ さい。機器が正しく動作しないことがあります。

3 USBケーブルのもう一方のコネクターをUSB機器に接続します。

▶ 関連項目

- ・「USB機器を取り外す」 p.21
- ・「PC Free機能で投写する」 p.52

USB機器を取り外す

USB機器による投写が終了したら、プロジェクターから機器を取り外します。

- 1 USB機器の電源を切り、必要に応じて電源アダプターを抜きます。
- 2 プロジェクターからUSB機器を取り外します。

ヘッドフォンを接続する

本機のAudio Out端子にはヘッドフォンを接続できます。本機のリモコンで音量を制御できます。

注意

本機のAudio Out端子は3極プラグのヘッドフォン専用です。3極プラグ以外のヘッドフォンを接続すると、音声が正常に再生されない可能性があります。

プロジェクターを接続する



1 ヘッドフォンのケーブルを本機のAudio Out端子に接続します。



⚠ 注意

初めから音量を上げすぎないでください。突然大きな音が出て、聴力障害 の原因となることがあります。

電源を切る前に音量を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてくださ い。

リモコンに電池を取り付ける

本機に付属の単4形電池2個をリモコンに取り付けます。

注意 電池を取り扱う前に、『安全にお使いいただくために』を必ずお読みくだ さい。



電池カバーを外します。





3

 $\langle \rangle$

古い電池が入っていれば取り外します。

使用済みの電池は、地域の廃棄ルールに従って廃棄してく ださい。





▲ 警告

電池ホルダー内の表示を確認して、(+)(-)を正しく入れてく ださい。電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火 災・けが・製品腐食の原因となることがあります。



電池カバーを閉め、カチッと音がするまで押し込みます。



- ▶ 関連項目
- ・「リモコンを操作する」 p.23

リモコンを操作する

リモコンを使用して、室内の離れた場所からプロジェクターを制御で きます。

リモコンに電池を取り付ける

リモコンは、本機のリモコン受光部に対して下図の角度で使用することをお勧めします。





プロジェクターの基本機能を使用する

プロジェクターの基本機能を説明します。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターの電源を入れる」 p.26
- ・「プロジェクターの電源を切る」 p.28
- ・「メニューの言語を選択する」 p.29
- 「設置モードを選択する」 p.30
- 「映像の高さを調整する」 p.31
- 「映像の形状を補正する」 p.32
- ・「フォーカスレバーで映像のピントを調整する」 p.35
- 「映像の大きさを調整する」 p.36
- ・「投写映像を切り替える」 p.37
- •「映像を最適化する(カラーモード)」 p.38
- ・「シャープネスを調整する」 p.40
- 「映像の色合いを調整する」 p.41
- •「光源の明るさを設定する」 p.45
- ・「プロジェクターの設定をメモリーに保存する」 p.46
- ・「音量ボタンで音量を調整する」 p.47
- ・「サウンドモードを切り替える」 p.48

プロジェクターの電源を入れる

プロジェクターの電源を入れた後、使用するビデオ機器の電源を入れ ます。

ACアダプターを本機のACアダプター端子に接続します。

電源コードをACアダプターに接続します。

電源コードをコンセントに差し込みます。



本機はスタンバイ状態になります。スタンバイ状態は、プロジェ クターに電力が供給されていて、電源が入っていない状態です。

プロジェクターまたはリモコンの電源ボタンを押して電源を入れ 4 ます。

ステータスインジケーターが青色に点滅します(ウォームアップ 状態)。ウォームアップが終わると、ステータスインジケーター が青色に点灯します。

最初に本機の雷源を入れたときには、「ウェルカムガイド」が表 示されます。「ウェルカムガイド」は本機の特長や使い方を紹介 します。



「ウェルカムガイド」をもう一度見たいときは、「設定] メニューで「ウェルカムガイド」を選択します。 ● [設定] > [表示] > [ウェルカムガイド]

▲ 警告

- ・投写中は本機のレンズをのぞきこまないでください。目に損傷を与える おそれがあります。特にお子様の行動にご注意ください。
- 本機から離れた場所でリモコンを使って電源を入れるときは、レンズを のぞいている人がいないことを確認してください。

 ・投写中に本などで投写光を遮らないでください。投写光を遮ると、光の 当たる部分が高温になって溶けたり、やけどや火災の原因になります。 また、反射した光でレンズ部が高温になり、本機が故障する原因となり ます。 投写を中断するときはA/Vミュート機能を使うか、本機の電源を 切ってください。

▶ 関連項日

- ・「ACアダプターを安全にお使いいただくために」 p.26
- ・「設定メニュー」 p.67

ACアダプターを安全にお使いいただくために

同梱のACアダプターは以下の注意事項を必ず守ってご使用ください。

プロジェクターの電源を入れる

\Lambda 警告

- 次のような異常のときは、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコン セントから抜いて、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の 連絡先にご相談ください。そのまま使用を続けると、火災・感電の原因 となります。
- ・ACアダプターから煙が出ている。
- ・ACアダプターから異臭や異音がする。
- ・ACアダプターが破損している。
- ・ACアダプターの内部に水や異物が入った。

⚠ 警告

- ・ACアダプターを正しく使用しないと、故障、火災、感電の原因になることがあります。次のことを守り、安全にお使いください。
- ・同梱のACアダプター以外は使用しないでください。
- ・ 同梱のACアダプターは本機専用です。本機以外の製品では使用しない でください。
- ・ACアダプターに強い力や衝撃を加えないでください。
- ・濡れた手でACアダプターを操作しないでください。
- ACアダプターを狭い場所に設置したり、布などをかぶせたりしないでください。
- ・通電中のACアダプターに長時間触れないでください。低温やけどの原因になることがあります。
- ・ACアダプターに殺虫剤などの可燃性スプレーを吹きかけないでください。
- ・ACアダプターを高圧容器や電子レンジなどの加熱調理機器に入れない でください。
- ・ACアダプターを本機の排気口の近くに置かないでください。
- ・電源コードをACアダプターに巻き付けて使用しないでください。

プロジェクターの電源を切る

使用後にプロジェクターの電源を切ります。



プロジェクターまたはリモコンの電源ボタンを押します。 シャットダウン確認画面が表示されます。



2 再度電源ボタンを押します。(電源を切らないときは、他のボタ ンを押します。)

光源がオフになり、ステータスインジケーターが消灯します。



▶ 関連項目

・「設定メニュー」 p.67

メニューの言語を選択する

メニューおよびメッセージの言語を変更します。



2 リモコンの^③ボタンを押します。



[設定]を選択して、^(mter)ボタンを押します。



- **4** [言語]を選択して、^{[nter}ボタンを押します。
- **5** 使用する言語を選択して、^{〔nter}ボタンを押します。
- 6 ()ボタンまたは()ボタンを押してメニューを終了します。

設置モードを選択する

プロジェクターの設置方法によって、設置モードを変更します。

- 「フロント」: 机上に設置して、スクリーンの正面から投写しま す。
- 「フロント・上下反転」:天吊りまたは壁掛け設置して、映像を上 下反転して投写します。
- 「リア」:リアスクリーンの裏側から映像を左右反転して投写しま。 す。
- 「リア・上下反転」:天吊りまたは壁掛け設置して、リアスクリー ンの裏側から映像を上下左右反転して投写します。

▶ 関連項目

- ・「メニューから設置モードを変更する」 p.30
- ・「プロジェクターの設置・取り付け」 p.15

メニューから設置モードを変更する

メニューから設置モードを変更して、映像を上下左右反転します。

本機の電源を入れて、映像を表示します。

リモコンの^③ボタンを押します。 2

3

[設定]を選択して、 (Enter)ボタンを押します。



- [設置] > [設置モード] の順に選択して、^(mer)ボタンを押しま 4 す。
- お使いの環境に合わせた設置モードを選択して、
 ^[mer]ボタンを押 5 します。





6 ()ボタンまたは()ボタンを押してメニューを終了します。

机などの平らな場所に置いて投写するときは、プロジェクターのフットを使って高さを調整します。

傾斜角度が大きくなると、ピントが合いにくくなります。傾斜角度が 小さくなるようにプロジェクターを設置してください。

▲ 本機の電源を入れて、映像を表示します。



プロジェクターからフロントフットが伸びます。 9度まで投写角度を調整できます。

フットレバーから指を離してフロントフットを固定します。

投写映像がゆがむときは、映像の形状を補正します。

▶ 関連項目

2

• 「映像の形状を補正する」 p.32

スクリーンの正面にプロジェクターを設置して、水平にすることで、 傾きやゆがみのない映像を投写できます。スクリーンに対して斜めに プロジェクターを設置したり、上下に傾けて設置したりしたときは、 映像の形状を補正します。

補正後は、映像が少し小さくなります。

投写映像の画質を維持するためには、プロジェクターの設置位置を調 整して映像サイズや形状を調整することをお勧めします。

▶ 関連項目

- ・「自動タテ補正」 p.32
- ・「台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する」 p.32
- ・「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 p.33

自動タテ補正

プロジェクターを移動したり傾けたりしたときに、[自動タテ補正] によって縦方向のゆがみが自動的に補正されます。

[自動タテ補正]で投写映像を正しく補正できる条件は、以下のとお りです。

- ・ [設定] メニューの [OSD回転] が [オフ] に設定されていること。
- [設定] > [設置] > [OSD回転]

	・縦方向は投写角度上下360°補正できます。補正を微調整したい
\sim	ときは、リモコンの ^(ご) ボタンを押して手動で補正してくださ
	し ¹ 。
	・[自動タテ補正]で映像を補正しないときは、[自動タテ補 正]を[オフ]に設定します。
	☞ [設定] > [設置] > [台形補正] > [タテヨコ] > [自 動々テ補正]

- ▶ 関連項目
- ・「設定メニュー」 p.67
- ・「台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する」 p.32

台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する

映像のゆがみを補正します。

リモコンの^(ご)ボタンを押して、映像の縦方向、横方向のゆがみをそれ ぞれ補正します。





- ・同時に複数の補正方法を使って補正することはできません。
- ・縦方向は投写角度上下34°まで補正できます。
- ・横方向は投写角度左右40°まで補正できます。



2 リモコンの^(立)ボタンを押します。



リモコンの上下左右ボタンで補正方法を選択して、映像の形状を 補正します。

• [タテ補正]



・ [ヨコ補正]





補正後は、映像が少し小さくなります。

Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する

[Quick Corner] 機能を使用して、映像のゆがみと大きさを補正します。



- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 リモコンの^④ボタンを押します。
- 3 [設定]を選択して、 (mer)ボタンを押します。

画質・映像		戻る
	サウンド	
	設直 主二	
情報		
	メモリー	
初期化	言語 🌖	日本語
	初期化	

映像の形状を補正する



- [設置] > [台形補正] の順に選択して、 (inter)ボタンを押します。
- 5

[Quick Corner]を選択して、^{Enter}ボタンを押します。必要に応じ てもう一度^{Enter}ボタンを押します。



エリア選択画面が表示されます。



Quick Cornerで補正した結果を初期化するには、エリア選 択画面が表示されているときに^①ボタンを約2秒間押し て、[はい]を選択します。 2 上下左右ボタンを押して、映像の形状を調整します。
Interボタンを押すと、エリア選択画面に戻ります。



- 8 手順6と7を繰り返して、調整が必要なすべてのコーナーを調整します。
- **9** 終了したら、 つボタンを押します。

▶ 関連項目

・「設定メニュー」 p.67

フォーカスレバーを使用して、ピントのズレを補正します。





ズームメニューで映像の大きさを調整できます。



5 左右ボタンを押して映像の大きさを調整して、^(inter)ボタンを押します。

	庆る 🔮
ズーム ワイド 🗘 📃	● テレ



2 リモコンの^③ボタンを押します。



[設定]を選択して、 (Enter)ボタンを押します。

画質・映像		戻る
· · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	サウンド 設定	
情報	動作	
	メモリー	
初期化	言語 🔇	日本語
	初期化	




投写映像を切り替える

コンピューターとDVDプレーヤーなど複数の機器をプロジェクターに 接続しているときは、投写する映像を切り替えます。



接続機器の電源が入っていることを確認します。



2 ビデオ機器の映像を投写するときは、DVDなどのメディアを挿入 して再生します。





映像が表示されないときは、本機とビデオ機器が正しく接 続されていることを確認してください。

本機は、投写環境や映像の種類に応じて、明るさ、コントラスト、色 を最適化するためのカラーモードを用意しています。環境や映像の種 類に合ったカラーモードを選択できます。

▶ 関連項目

- ・「カラーモードを変更する」 p.38
- ・「カラーモードの種類」 p.38
- ・「映像の光量を調整する」 p.39

カラーモードを変更する

リモコンで[カラーモード]を変更して、映像を最適化します。

- 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 リモコンの^③ボタンを押します。
- 3

[画質・映像]を選択して、 [mer]ボタンを押します。

画質・映像		戻る 🥑
	カラーモード	タイナミック
设定	レーザーライト出力	0 % 🔤
	明るさ設定	
青報	色設定	
	シャープネス設定	
切期化	ビデオレンジ	リミテッド(16-235)
	初期化	

【カラーモード】を選択して、^(nte)ボタンを押します。 お好みのカラーモードを一覧から選択して、^(nte)ボタンを押します。

- 6 ⁽)ボタンまたは、「ボタンを押してメニューを終了します。
- > 関連項目・「画質・映像メニュー」 p.65

カラーモードの種類

投写環境や映像の種類に応じて、以下のカラーモードを設定できま す。

カラーモード	説明
ダイナミック	最も明るいモードです。明るさを優先したい場合 に適しています。
ビビッド	明るい部屋でさまざまなコンテンツを楽しむ場合 に適しています。
ブライトシネマ	明るい部屋で映画などのコンテンツを楽しむのに 適しています。
シネマ	暗い部屋で映画などのコンテンツを楽しむのに適 しています。
ナチュラル	映像の色調整を行いたい場合に適しています。

映像の光量を調整する

ダイナミックコントラストをオンにすると、投写映像の光量を自動的 に調整できます。光量を自動的に調整することで、映像の明るさに合 わせてコントラストを改善します。

ก

本機の電源を入れて、映像を表示します。

- 2 リモコンの (%) ボタンを押します。
- 3
- [画質・映像]を選択して、 「「「」「ボタンを押します。

i質・映像		戻る 🥑
定	 カラーモード レーザーライト出力 	タイナミック 0% <u>■</u>
幸员	明るさ設定 色設定	
期化	シャーブネス設定 ビデオレンジ	リミテッド(16-235)
	初期化	

- 4 [明るさ設定] > [ダイナミックコントラスト]の順に選択して、 (Inter ボタンを押します。
- **5**次のいずれかを選択して、^(Inter)ボタンを押します。
 - ・[標準]:標準の光量調整を行います。

「高速]:シーンが切り替わったとき、すぐに光量を調整します。

[タイナミックコントラスト] 戻る 🕗	
■オフ	
口標準	
0 高速	



シャープネスを調整する

投写映像の画質を細かく調整できます。



2 リモコンの^④ボタンを押します。



[画質・映像]を選択して、 [mter]ボタンを押します。



4 [シャープネス設定]を選択して、^{[mer}ボタンを押します。

5 必要に応じて以下を調整します。

- [シャープネス]:映像の輪郭の見え方を調整します。
- [ノイズリダクション]:映像のざらつきを抑えます。
- [MPEGノイズリダクション] : MPEG形式の映像のざらつきを 抑えます。

「ディテール強調]:映像のテクスチャーや質感を強調します。

画質・映像	[シャープネス設定]	戻る 🔮
設定	シャープネス	0
情報	ノイズリタクション MPEGノイズリダクション	
初期化	ディテール強調	0
l		



投写映像の色合いを細かく調整できます。

▶ 関連項目

- ・「色温度を調整する」 p.41
- ・「RGBを調整する(オフセット・ゲイン)」 p.41
- ・「色相、彩度、明度を調整する」 p.42
- ・「ガンマを調整する」 p.43

[色設定] > [ホワイトバランス] > [色温度] の順に選択し 4

5 左右ボタンを押して、映像の色合いを調整します。



色温度を調整する

映像全体の色合いを調整します。映像の青みが強すぎる、赤みが強す ぎるなどのときに調整します。



本機の電源を入れて、映像を表示します。

リモコンの^③ボタンを押します。 2



[画質・映像]を選択して、^(Inter)ボタンを押します。

፴質・映像		戻る 🕗
	┘ カラーモード	ダイナミック
定	レーザーライト出力	0 % 🗔 📃
	明るさ設定	
5. 去居	白設定	
4 + 14		
- 448 - 41	シャーノネス設定	
リ期化	ビデオレンジ	リミテッド(16-235)
	初期化	

値を高くすると青みがかった映像になり、値を低くすると赤みが かった映像になります。



RGBを調整する(オフセット・ゲイン)

R(赤)G(緑)B(青)の各色について、暗い部分(「オフセッ ト])と明るい部分([ゲイン])の明度を調整します。



本機の電源を入れて、映像を表示します。



リモコンの^(塗)ボタンを押します。

3

[画質・映像]を選択して、 [mer]ボタンを押します。



- **5** 調整する色をR(赤)、G(緑)、B(青)から選択して、必要に 応じて以下を調整します。
 - ・ [オフセット]:映像の暗い部分の明度を調整します。
 - ・ [ゲイン] :映像の明るい部分の明度を調整します。

[カスタム]		戻る 🔮
オフセットR	0 🜒 📃	
オフセット G	0 🔷 📃	
オフセット B	0 🔷 📃	
ゲイン R	0 🗘 📃	
ゲイン G	0 🔷 📃	
ゲイン B	0 🗘 📃	

値を高くすると明るくなり、値を低くすると暗くなります。

[オフセット] :明るくすると暗い部分の濃淡がはっきりしま す。暗くするとメリハリのある見え方になりますが、濃淡がわか りにくくなります。

[ゲイン]:明るくすると明るい部分が白っぽくなり、濃淡がわかりにくくなります。暗くすると濃淡がはっきりします。



色相、彩度、明度を調整する

映像の[色相]、[彩度]、[明度]を調整します。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 リモコンの^④ボタンを押します。
- [画質・映像]を選択して、^(Inter)ボタンを押します。



映像の色合いを調整する



[ガンマ]を調整することにより、接続機器の違いにより生じる投写 映像の発色の違いを調整します。



補正値を選んで調整します。



数値が小さいほど、映像全体の明るさを抑えてメリハリのある映 像になります。数値が大きいと、映像の暗い部分が明るくなり、 明るい部分は色の濃淡が小さくなります。



6 調整の精度を上げるには、 [カスタム] を選択して、 (nter) ボタン を押します。

ガンマ調整グラフで、左右ボタンを使って変更したい階調を選択します。選択された階調を上下ボタンで調整して、^{Enter}ボタンを押します。





光源の明るさを設定する

光源の明るさを設定します。

- ▲ 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 リモコンの^③ボタンを押します。



[画質・映像]を選択して、^{Enter}ボタンを押します。











プロジェクターの設定をメモリーに保存する

「画質・映像」メニューで調整した投写映像の設定値をメモリーに登 録して、いつでも必要なときに呼び出すことができます。

本機の電源を入れて、映像を表示します。

- リモコンの^③ボタンを押します。 2
- 3

[設定]を選択して、 「「「」「ボタンを押します。

画質・映像	_		戻る
設定 🕑	<u>サウンド</u> 設置		
告胡	表示		
	メモリー		
初期化	言語 € ● 初期化	日本語	
I			



5 次のいずれかを選択します。

- 「メモリー呼出」:登録したメモリーを呼び出して、現在の [画質・映像] メニューの設定と置き換えます。
- 「メモリー登録]:現在の「画質・映像]メニューの設定をメ モリーに登録します(10件まで登録できます)。



- 「メモリー削除]: 選択したメモリーを消去します。
- 「メモリー名称変更」:メモリー名を変更します。





6 ⁽¹⁾ボタンまたは⁽¹⁾ボタンを押してメニューを終了します。

- ・メモリー登録時のカラーモードは、メモリー名の右側に表示さ れます。
 - ・登録されたメモリーをすべて消去するには、「初期化」メ ニューの「メモリー初期化」を選択します。

音量ボタンで音量を調整する

音量ボタンは、プロジェクターの内蔵スピーカーの音量を調整しま す。

- ▲ 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- **2** リモコンの⁽¹⁾ボタンまたは⁽¹⁾ボタンを押して、音量を調整します。

音量調節画面が表示されます。

⚠ 注意

初めから音量を上げすぎないでください。突然大きな音が出て、聴力障害 の原因となることがあります。

電源を切る前に音量を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

▶ 関連項目

・「設定メニュー」 p.67

サウンドモードを切り替える

本機は、投写映像の種類に応じて、音声を最適化するためのサウンド モードを用意しています。

映像の種類や投写環境に合ったサウンドを選択できます。

▲ 本機の電源を入れて、映像を表示します。

- 2 リモコンの^④ボタンを押します。
- 3

[設定]を選択して、 (Enter)ボタンを押します。



 【サウンド】> [サウンドモード] の順に選択して、^(nte)ボタン を押します。

5	お好みのサウンドモードを選択し	て、 ^[ther] ボタンを押します。
	[サウンドモード]	戻る 🔮
	■ スタンダ・ ■ スタンダ・	- ř

□ミュージック □ムービー

6 ()ボタンまたは()ボタンを押してメニューを終了します。

▶ 関連項目

・「サウンドモードの種類」 p.48

サウンドモードの種類

投写している映像の種類に応じて、以下のサウンドモードを設定でき ます。

サウンドモード	説明
スタンダード	すべての映像に適したサウンドモードです。
ボーカル	ボーカルやせりふを聴きやすくします。
ミュージック	音楽に適しています。低音、高音がクリアに再生 されます。
ムービー	ビデオや映画を楽しむのに適しています。低音、 高音が強調されます。

プロジェクターの便利な機能

プロジェクターの各機能を使用します。

▶ 関連項目

- ・「HDMIリンク機能」 p.50
- ・「PC Free機能で投写する」 p.52
- ・「モバイルデバイスからのワイヤレス投写(Screen Mirroring)」 p.57
- ・「映像と音声を一時的に遮断する(A/Vミュート)」 p.60
- ・「セキュリティーケーブルを取り付ける」 p.61

HDMIリンク機能

本機のHDMI端子にHDMI CEC規格に対応したAV機器を接続すると、接 続機器同士の連携動作が本機のリモコンで操作できます。

▶ 関連項目

・「HDMIリンク機能を使って接続機器を操作する」 p.50

HDMIリンク機能を使って接続機器を操作する

HDMIリンクを利用できる接続機器を選択して、HDMIリンク機能で機 器を操作できます。



- ・HDMIリンクを使用するには、接続機器側の設定も必要です。 詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- ・ HDMI CEC規格に対応していても動作しない接続機器や、動作 しない機能があります。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧 ください。
- ・ケーブルがHDMIの規格に対応していないと動作しません。



[設定]を選択して、 (Enter)ボタンを押します。

2





[動作] > [HDMIリンク] の順に選択して、^(inter)ボタンを押しま 3 す。



[HDMIリンク]を[オン]に設定して、^{Enter}ボタンを押します。

画質・映像	[HDMIリンク]	戻る 🔮
設定	接続機器一覧	
情報	HDMIリンク 電源オン連動	
初期化	電源オフ連動	オフ

HDMIリンク機能

5 [接続機器一覧]を選択して、^{(Inter}ボタンを押します。 接続機器一覧が表示されます。



て、^(Inter)ボタンを押します。



HDMIリンクで操作したり映像を表示したりする機器を選択し

- ・HDMIリンクされている機器は左側のマークが青色になります。
 - ・機器名が取得できないときは空欄になります。
- 7

必要に応じて^(●)ボタンを押して、HDMIリンクのオプション設定 をします。

 「電源オン連動]:本機や接続機器の電源を入れたときに連動 する操作を設定します。本機の電源を入れたとき、接続機器の 電源も入るようにするには、「PJ→接続機器]または「双方 向]を選択します。接続機器の電源を入れたとき、本機の電源 も入るようにするには、「接続機器→PJ]または「双方向」を 選択します。 • [電源オフ連動] : 本機の電源オフに連動して、接続機器の電 源も切るかどうか設定します。

Cill Contraction ・「電源オフ連動」は、接続機器のCEC電源連動機能を 有効に設定しているときのみ有効です。 ・録画中の機器など、状態によっては電源が切れないこ とがあります。

画質・映像	[HDMIリンク]	戻る 🔮
設定	接続機器一覧	
	HDMIリンク	オン
"青 報	電源オン運動	
	電源オフ連動	オフ
初期化		



本機のリモコンを使って接続機器の再生、停止、音量調整などの操作ができます。

- ▶ 関連項目
- ・「設定メニュー」 p.67

PC Free機能で投写する

PC Free機能は、USB機器を本機に接続して、保存されたファイルを投 写できます。素早く簡単に映像を投写でき、リモコンから映像を操作 することもできます。



▶ 関連項目

- ・「サポートファイル形式」 p.52
- ・「PC Free使用時の注意事項」 p.53
- ・「PC Freeのスライドショーを開始する」 p.53
- ・「PC Freeで動画を投写する」 p.54
- ・「PC Freeの表示オプション」 p.55

サポートファイル形式

以下の形式のファイルをPC Freeで投写できます。

・FAT16/32でフォーマットされたUSB機器にファイルを保存して ください。

 Windows以外のファイルシステムでフォーマットしたUSB機器 で投写に問題があるときは、Windowsでフォーマットしてくだ さい。

ファイルの 内容	ファイル タイプ (拡張 子)	詳細
静止画	.jpg	以下のファイル形式は投写できません。 ・ CMYK形式 ・ プログレッシブ形式 ・ 高圧縮 ・ 解像度が8192 × 8192を超えるファイル
	.bmp	以下のファイル形式は投写できません。 ・ 解像度が1280 × 800を超えるファイル
	.gif	以下のファイル形式は投写できません。 ・解像度が1280×800を超えるファイル ・アニメーションファイル ・インターレース形式
	.png	以下のファイル形式は投写できません。 ・解像度が1920 × 1080を超えるファイル ・インターレース形式
動画	.avi	 AVI 1.0のみ投写できます。 以下のファイル形式は投写できません。 Motion JPEG以外の映像コーデックで保存された ファイル PCM、ADPCM以外の音声コーデックで保存された ファイル 解像度が1280×720を超えるファイル サイズが2 GBを超えるファイル

PC Free使用時の注意事項

PC Free機能を使用するときは、以下の点に注意してください。

- ・ PC Freeで投写中は、USB機器を本機から取り外さないでください。 PC Freeが正しく動作しなくなるおそれがあります。
- ・セキュリティー機能が搭載されているUSB機器は、使用できないことがあります。
- ・ACアダプターが付属されているUSB機器を接続するときは、ACアダプターを電源コンセントに接続してください。
- ・市販のUSBカードリーダーの中には、本機で使用できないものもあり ます。
- ・ PC Freeで投写中は映像のゆがみを補正できないため、PC Freeを実行 する前に補正してください。

PC Freeのスライドショーを開始する

USB機器をプロジェクターに接続した後、入力ソースをUSBに切り替え てスライドショーを開始します。





PC Freeファイル一覧画面が表示されます。



- ・ドライブの選択画面が表示されたときは、上下左右ボタンでドライブを選択して、^(inter)ボタンを押します。
 ・別のUSBドライブの画像を表示するには、ファイル一覧 画面上部の[ドライブの選択]を選択して、^(inter)ボタンを押します。
- 2 以下の操作で投写するファイルを探します。
 - ・ USB機器のサブフォルダーにあるファイルを投写するときは、 上下左右ボタンで該当のフォルダーを選択して、^(nter)ボタンを 押します。
 - ひとつ上のフォルダーに戻るときは、[上へ戻る]を選択して、^{[ntep}ボタンを押します。



以下のいずれかの操作でファイルを投写します。

- ・ 投写するファイルを1つずつ選択するときは、上下左右ボタン で画像を選択し、 (「Territy ボタンを押します。 (ファイルー覧画面 に戻るには、シボタンを押します。)
- ・
 同一フォルダー内のすべての画像をスライドショーで表示する
 には、上下左右ボタンで画面下部の「スライドショー」を選択 し、「「「オタンを押します。



- ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の 記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名 が短縮、または変更されます。
- 投写中は、以下の操作ができます。
- ・ 画像の回転:上下ボタンを押して、画像を回転できます。



- ・ 画像の送り戻し:左右ボタンを押して、表示中の画像の前また は次の画像を表示します。
- 画像の投写を終了するときは、 シボタンを押します。 5 ファイル一覧画面に戻ります。
- 必要に応じてUSB機器の電源を切り、本機から取り外します。 6

PC Freeで動画を投写する

USB機器をプロジェクターに接続した後、入力ソースをUSBに切り替え て、動画の投写を開始します。



画面下部の「オプション」を選択し、^(Inter)ボタンを押して、PC Freeの動作設定オプションを変更できます。



リモコンの^(モ)ボタンを押して、USBソースに切り替えます。 PC Freeファイル一覧画面が表示されます。



PC Free機能で投写する



- ・ドライブの選択画面が表示されたときは、上下左右ボタンでドライブを選択して、^{Enter}ボタンを押します。
 ・別のUSBドライブの動画ファイルを表示するには、ファイルー覧画面上部の[ドライブの選択]を選択して、
 - 1ルー真画面上部の「トライノの選択」を選択して、 ^{(Inter}ボタンを押します。
- 2 以下の操作で投写するファイルを探します。
 - USB機器のサブフォルダーにあるファイルを投写するときは、
 上下左右ボタンで該当のフォルダーを選択して、^(nter)ボタンを 押します。
 - ひとつ上のフォルダーに戻るときは、「上へ戻る」を選択して、^{(Inter}ボタンを押します。
- 上下左右ボタンでファイルを選択し、^(inter)ボタンを押します。

 ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の 記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名 が短縮、または変更されます。
 同一フォルダー内のすべての動画を連続再生するには、

- 向一フォルター内のすべての動画を運続再生するには、 画面下部の[スライドショー]を選択します。
- 投写を終了するときは、 デボタンを押し、 [終了]を選択して
 ^{Enter}ボタンを押します。

ファイル一覧画面に戻ります。

必要に応じてUSB機器の電源を切り、本機から取り外します。

PC Freeの表示オプション

PC Freeでは、以下の表示オプションを設定できます。PC Freeファイル 一覧画面下部の[オプション]を選択し、^{[nter}ボタンを押します。

ファイル表示設定							
	表示順序設定	8 7	アイル名	lā 🖸		更新日付旗	
	ソート方向		97.UI		1	iiild	
スライドショー設定							
	繰り返し再生	1	72		i	オフ	
	表示時間設定	3⊕	9		_		
	画面切替効果		なし		1	ワイブ	
		1	FT 910.		1	ランダム	
		-	ОК		-	キャンセル	

設定	選択肢	説明
表示順序設定	ファイル名順	ファイル名順でファイルを表示
	更新日付順	更新日付順でファイルを表示
ソート方向	昇順	数字やアルファベットの小さい順 にファイルを並べる
	降順	数字やアルファベットの大きい順 にファイルを並べる
繰り返し再生	オン	スライドショーを連続表示
	オフ	スライドショーを1回のみ表示

設定	選択肢	説明
表示時間設定	なし	画像の自動送りなし
	1秒~60秒	設定した秒数の間画像を表示した 後、自動的に次の画像を表示(高 解像度の画像は、設定秒数よりも 切り替えが遅れることがありま す)
画面切替効果	なし	切り替え効果なし
	ワイプ	画像の切り替え時にワイプ効果を 入れる
	ディゾルブ	画像の切り替え時にディゾルブ効 果を入れる
	ランダム	画像の切り替え時にランダム効果 を入れる

Miracastを搭載したノートPC、スマートフォン、タブレットPCなどの モバイルデバイスからプロジェクターに映像を送信できます。

Miracastに準拠しているデバイスであれば、ソフトウェアを追加でイン ストールする必要はありません。Windowsコンピューターをお使いの ときは、Miracast接続に必要なアダプターが利用可能なことを確認して ください。

Screen Mirroring機能を使用するときは、以下の制限事項があります。

- ・インターレース映像は再生できません。
- ・3チャンネル以上のマルチチャンネルオーディオは再生できません。
- ・解像度1920×1080、フレームレート30 fpsを超える映像は投写できません。
- ・3D映像は再生できません。
- ・お使いのデバイスによっては、著作権保護されたコンテンツは Miracast接続では再生できないことがあります。
- Screen Mirroringでの投写中にScreen Mirroring設定は変更しないでく ださい。設定を変更すると、接続が切断され、再接続までに時間が かかることがあります。
- [設定] > [動作] > [Screen Mirroring設定]



Miracastは、主にAndroid端末やWindows 8.1以降のWindowsに搭載されています。

デバイスによって、Miracastを搭載していないことがあります。 お使いのモバイルデバイスの取扱説明書をご確認ください。

▶ 関連項目

- ・「Screen Mirroringを設定する」 p.57
- ・「Miracast機能を使ってScreen Mirroring接続する」 p.58

Screen Mirroringを設定する

モバイルデバイスから映像を投写するには、プロジェクターのScreen Mirroringを設定します。





[動作] > [Screen Mirroring]の順に選択して、^{〔nter}ボタンを押 します。



[Screen Mirroring] を [オン] に設定します。

画質・映像	[動作]	戻る
設定	HDMIリンク Screen Mirroring	
情報	Screen Mirroring設定	+ 7
初期化	スリーノモート スリープモード時間	
	タイレクトパワーオン イルミネーション	オフオフ
	省電力スタンバイ HDMI EQ 設定	<u>オフ</u> 0



[Screen Mirroring設定]を選択し、^{〔nter}ボタンを押します。

5

必要に応じて[ディスプレイ名]を設定します。





[動作モード]を選択します。

- ・ [基本モード] : 基本的な設定で接続します。
- [拡張モード] : 接続の詳細を設定できます。

必要に応じて[パフォーマンス調整]を設定します。

Screen Mirroringの映像表示速度、および品質を調整します。品質 を上げるには小さい値を選択し、速度を上げるには大きい値を選 択します。

- [拡張モード]を選択した場合は、「拡張設定」を設定します。
 - ・ [割り込み接続] : 会議の形態に合わせて、接続方法を選択し ます。Screen Mirroringでの投写中に他のモバイルデバイスが割 り込み接続できるようにするには [オン] を選択します。割り 込み接続を禁止するには [オフ] を選択します。
 - 「チャンネル」: Screen Mirroringで使用する無線チャンネルを 選択します。
- 9 設定が終わったら、 [設定]を選択し、画面の指示に従って設定 を保存してメニューを終了します。

Miracast機能を使ってScreen Mirroring接続する

Miracastが搭載されたスマートフォンなどのモバイルデバイスをお使いのときは、Miracast機能を使ってワイヤレスに映像を投写できます。 Screen Mirroringで接続すると、映像と音声を本機から出力できます。

- 1
- 必要に応じて本機の [Screen Mirroring設定]を設定します。
- 2 リモコンの^(三)ボタンを押して、Screen Mirroringソースに切り替 えます。

Screen Mirroring待機画面が表示されます。

3 モバイルデバイスでMiracast機能を使用してプロジェクターを検索します。

接続可能なデバイスの一覧が表示されます。

モバイルデバイスからのワイヤレス投写(Screen Mirroring)

一覧から本機のディスプレイ名を選択します。 4



5 モバイルデバイスにPIN入力画面が表示されたときは、Screen Mirroring待機画面または投写している映像の右下に表示されてい るPINコードを入力します。

モバイルデバイスの映像がプロジェクターから投写されます。

N 接続が確立されるまで時間がかかることがあります。接続 が完了するまでプロジェクターの電源コードを抜かないで ください。電源コードを抜くと、デバイスが反応しなく なったり、誤作動する原因になります。 モバイルデバイスによっては、接続時にデバイスの削除が 必要になることがあります。モバイルデバイスの画面の指 示に従って操作してください。

映像と音声を一時的に遮断する(A/Vミュート)

投写映像と音声を一時的に消すことができます。遮断中も映像と音声 は進んでいるため、遮断した場面から投写を再開することはできませ ん。



- 1 リモコンの、ボタンを押します。 光源が消灯して、映像と音声が遮断されます。
- 2 投写を再開するときは、再度^低ボタンを押します。

盗難防止のために、Kensington社製のマイクロセーバーセキュリ ティーシステムを、本機のセキュリティースロットに取り付けること ができます。



マイクロセーバーセキュリティーシステムについての詳細は、 http://www.kensington.com/をご覧ください。

▶ 関連項目

・「プロジェクターの各部名称 - 前面/上面」 p.9

メニューの設定

プロジェクターメニューの機能と設定について説明します。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターメニューを操作する」 p.63
- ・「ソフトキーボードを操作する」 p.64
- ・「画質・映像メニュー」 p.65
- ・「設定メニュー」 p.67
- ・「情報メニュー」 p.70
- ・「初期化メニュー」 p.72
- ・「メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする(一括設定機能)」 p.73

プロジェクターメニューを操作する

投写画面に表示されるメニューを使って、本機の各種動作を設定しま す。

1 リモコンの^(塗)ボタンを押します。

[画質・映像] メニューが表示されます。



- 2 上下ボタンを押して、左側に表示されるメニュー項目を選択します。各メニューの設定が右側に表示されます。
- 3 設定を変更するには、^(nter)ボタンを押します。
- 上下ボタンを押して、設定項目を選択します。
- 5 メニュー画面の下に表示されるナビゲーションに従って、設定を 変更します。
- 6 メニュー設定をすべて初期設定に戻すには、 [初期化] を選択します。



ソフトキーボードを操作する

数字や文字の入力が必要なときはソフトキーボードが表示されます。



リモコンの上下左右ボタンを使って、入力する数字や文字を選択して、^(mer)ボタンを押します。





テキストの入力後、キーボードの [Finish] を選択して入力を確 定します。 [Cancel] を選択すると、テキストの入力を取り消し ます。

▶ 関連項目

・「ソフトキーボードで入力可能な文字」 p.64

ソフトキーボードで入力可能な文字

ソフトキーボードでは、以下の文字を入力できます。

文字タイプ	詳細
数字	0123456789

文字タイプ	詳細
アルファベット	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
記号	! " # \$ % & ' () * + , / : ; < = > ? @ [\] ^ _` { } ~

[画質・映像] メニューでは、現在投写している入力ソースの映像の 画質を調整できます。

画質・映像		戻る 🔮
		ダイナミック
設定	レーサーフイト出刀	0 %
情報		
	シャープネス設定	
初期化	ビデオレンジ	リミテッド(16-235)
	初期化	

設定	選択肢	説明
カラーモード	カラーモードの一 覧を参照	映像の種類や使用環境に応じて、適 切なカラーモードを選択します。
レーザーライト出 カ	レベル調整	光源の明るさを設定します。
明るさ設定	明るさ	映像の明るさを調整します。
	コントラスト	映像のコントラストを調整します。
	シーン適応ガンマ 補正	シーンに応じて階調表現を最適化 し、メリハリのある映像にします。 コントラストを強調したいときは、 大きい値を選択します。
	ガンマ	補正値を選んだり、ガンマグラフを 見ながら映像の発色を調整します。
	ダイナミックコン トラスト	映像の明るさに合わせて投写時の光 量を調整します。

設定	選択肢	説明
色設定	色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。
	色合い	映像の色合いを調整します。
	ホワイトバランス	 [色温度]:選択したカラーモード に応じて設定します。値を高くする と青みがかった映像になり、値を低 くすると赤みがかった映像になります。 [カスタム]:R(赤)、G(緑)、B (青)の色ごとにオフセットとゲインを調整します。
	RGBCMY	R(赤)、G(緑)、B(青)、C(シ アン)、M(マゼンタ)、Y(イエ ロー)ごとに色相、彩度、明度を調 整します。
シャープネス設定	シャープネス	映像の輪郭の見え方を調整します。
	ノイズリダクショ ン	アナログ映像のざらつきを抑えま す。
	MPEGノイズリダ クション	MPEG形式の映像のざらつきを抑えま す。
	ディテール強調	映像のテクスチャーや質感を強調し ます。
ビデオレンジ	オート リミテッド(16- 235) フル(0-255)	HDMI端子に接続された機器の設定に 合わせて、本機のビデオレベルを設 定します。
初期化		選択されているカラーモードの[画 質・映像]メニューで調整したすべ ての値を初期値に戻します。

画質・映像メニュー

▶ 関連項目

- ・「カラーモードの種類」 p.38
- •「光源の明るさを設定する」 p.45
- ・「シャープネスを調整する」 p.40
- 「映像の色合いを調整する」 p.41

画質・映像		戻る
	サウンド	
設正 🗸		
情報	動作	
	メモリー	
初期化		日本語
	初期化	

[設定]メニューでは、プロジェクターの各種設定ができます。

設定	選択肢	説明
サウンド	音量	本機の内蔵スピーカーの音量を調整 します。
	サウンドモード	再生するコンテンツの内容に適した サウンドモードを選択します。
設置	台形補正	[タテヨコ]:投写映像の縦方向、 横方向のゆがみを補正します。 [Quick Corner]:投写画面のコー ナーの形状を個別に補正します。
	ズーム	映像の大きさを調整します。
	設置モード	映像が正しい方向で投写されるよう に、スクリーンに対する本機の設置 方法を選択します。
	OSD回転	プロジェクターメニューの表示方向 を90°回転させます。
表示	ウェルカムガイド	本機の特長や使い方を紹介します。

設定	選択肢	説明
	メッセージ表示	[オン] に設定すると、カラーモー ド名、アスペクト比、高温警告など のメッセージが投写画面に表示され ます。メッセージを表示させたくな いときは [オフ] を選択します。
	スタートアップス クリーン	[オン]に設定すると、投写開始時 にEPSONロゴを表示します。
	スタンバイ確認	[オフ] に設定すると、操作パネル またはリモコンの電源ボタンを押し たときに、シャットダウン確認画面 を表示せずに本機の電源を切りま す。
	型番表示モード	投写画面に本機の型番を表示すると きは、[オン]に設定します。[言 語]で[日本語]が選択されている ときのみ有効です。

67

設定	選択肢	説明
動作	HDMIリンク	 [接続機器一覧]:HDMI端子に接続されている機器の一覧を表示します。 [HDMIリンク]:HDMIリンクの有効/無効を切り替えます。 [電源オン連動]:本機または接続機器の電源をオンにしたときの動作を設定します。 (双方向]:本機の電源オンに連動して接続機器の電源をオンにします。 [接続機器→PJ]:接続機器の電源をオンにします。 [接続機器→PJ]:接続機器の電源をオンにします。 [PJ→接続機器]:本機の電源オンに連動して、接続機器の電源をオンにします。 [電源オフ連動]:本機の電源をオフに連動して、接続機器の電源をオフに連動して、接続機器の電源をオフにするかしないかを設定します。
	Screen Mirroring	Screen Mirroring機能を使って投写す るには、[オン]を選択します。
	Screen Mirroring 設定	Screen Mirroringの接続を設定しま す。
	スリープモード	[オン]に設定すると、一定時間映 像信号の入力がないときに、自動的 に本機の電源が切れます。
	スリープモード時 間	[スリープモード]で電源が自動で 切れるまでの時間を設定します。
	イルミネーション	ステータスインジケーターを消灯し ます。

設定	選択肢	説明
	省電力スタンバイ	[オフ]に設定すると、本機がスタ ンバイ状態(電源オフ)のときも、 本機のUSB-A端子に接続されている機 器に電力を供給します。
	HDMI EQ 設定	HDMI端子に接続している映像機器に 応じて、HDMI受信レベルを変更しま す。映像にノイズが入ったり、映ら ないときは、設定を変更してくださ い。 スティック型端末を接続して映らな いときは、設定を[1] に変更してく ださい。
メモリー	メモリー呼出 メモリー登録 メモリー削除 メモリー名称変更	投写映像の設定値をメモリーに登録 します。
言語	言語設定	メニュー、メッセージに表示する言 語を選択します。
初期化		 [設定] メニューで調整した、以下 を除くすべての値を初期値に戻しま す。 [ズーム] [設置モード] [電源オン連動] [電源オフ連動] [Screen Mirroring] [省電力スタンバイ] [HDMI EQ 設定] [メモリー] [言語]

設定メニュー

▶ 関連項目

- ・「設定メニュー Screen Mirroring設定」 p.69
- 「モバイルデバイスからのワイヤレス投写(Screen Mirroring)」 p.57
- •「映像の形状を補正する」 p.32
- ・「HDMIリンク機能」 p.50
- ・「プロジェクターの設定をメモリーに保存する」 p.46
- ・「音量ボタンで音量を調整する」 p.47
- ・「サウンドモードを切り替える」 p.48

設定メニュー - Screen Mirroring設定

[Screen Mirroring設定] 画面で、Screen Mirroringの設定をします。

● [設定] > [動作] > [Screen Mirroring設定]

[Screen Mirroring設定]	戻る 🔮
ディスプレイ名	
動作モード	基本モード
パフォーマンス調整	0
拡張設定	
初期化	
	設定

設定	選択肢	説明
ディスプレイ名	32文字以内の半角 英数字	Screen Mirroring機能を使用してプロ ジェクターを検索するときに、本機 を識別するための名前を入力しま す。
動作モード	基本モード 拡張モード	接続の詳細を設定するときは、[拡 張モード]を選択します。

設定	選択肢	説明
パフォーマンス調 整	1~4	Screen Mirroringの映像表示速度およ び品質を調整します。 表示品質を上げるには小さい値を選 択します。表示速度を上げるには大 きい値を選択します。
拡張設定		[動作モード]を[拡張モード]に 設定しているときのみ設定可能で す。
	割り込み接続	[オン]にすると、Screen Mirroring での投写中に、他のモバイルデバイ スの割り込み接続が可能です。 [オフ]にすると、割り込み接続を 禁止します。
	チャンネル	Screen Mirroringで使用する無線チャ ンネルを選択します。
初期化	_	[Screen Mirroring設定]で調整した すべての値を初期値に戻します。

[情報]メニューでは、本機の情報、バージョンを確認できます。このメニューの設定は変更できません。



情報の項目	説明
プロジェクター情報	プロジェクターの情報を表示します。
光源情報	光源の使用時間を表示します。
Screen Mirroring情報	Screen Mirroringソースを投写しているときに、機 器の接続に必要な情報を表示します。
バージョン	ファームウェアバージョンを表示します。

▶ 関連項目

・「情報メニュー - プロジェクター情報」 p.70

情報メニュー - プロジェクター情報

[情報]メニューの [プロジェクター情報] では、本機の状態や投写 している映像信号の情報を確認できます。

画質・映像	[プロジェクター情報]	戻る 🔮
設定	使用時間	0 H
情報	入力信号	HDMI
初期化	 人刀解像度 リフレッシュレート 同期情報 	0.00 Hz
	ステータス 型番	
	シリアル留ち	

情報の項目	説明
使用時間	プロジェクターの電源をオンにしてからの使用時 間を表示します。
入力ソース	現在の入力ソースを表示します。
入力信号	現在の入力ソースの入力信号方式を表示します。
入力解像度	現在の入力ソースの解像度を表示します。
リフレッシュレート	現在の入力ソースのリフレッシュレートを表示し ます。
同期情報	サービス技術者が必要とする情報を表示します。
ステータス	サービス技術者が必要とするプロジェクターの問 題に関する情報を表示します。
型番	本機の型番を表示します。

情報の項目	説明
シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。

[初期化] メニューでは、本機の設定を初期化できます。



設定	選択肢	説明
メモリー初期化	—	メモリー名と登録内容を消去しま す。
全初期化	—	本機の設定を初期化します。

以下の設定は、「全初期化」を実行しても初期値に戻りません。

- ・ズーム
- ・Screen Mirroring設定
- ・メモリー
- ・言語
メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする(一括設定機能)

本機で設定したメニューの内容を、以下の方法で他の複数台のプロ ジェクターにコピーできます(一括設定機能)。一括設定機能は同じ 型番のプロジェクター間でのみ使用できます。

・USBメモリーを使って設定する

・コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する

[Screen Mirroring設定] や [情報] メニューなどのプロジェクター固 有の情報はコピーできません。



・台形補正などの投写画面の調整をする前に一括設定機能を実行 してください。一括設定機能では、タテヨコ補正などの投写画 面の調整値もコピーされます。投写画面の調整後に一括設定を 行うと、調整した投写画面が変わってしまうことがあります。

▲ 注意

一括設定は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常など が原因で一括設定に失敗したときは、有償修理となることがあります。

▶ 関連項目

- •「USBメモリーを使って一括設定する」 p.73
- ・「コンピューターを使って一括設定する」 p.74

USBメモリーを使って一括設定する

USBメモリーを使用して、同じ型番のプロジェクターにメニュー設定 をコピーできます。



FAT形式でフォーマットされ、セキュリティー機能のついていな いUSBメモリーを使用してください。また、空のUSBメモリーを 使用してください。一括設定ファイル以外のデータが入ってい ると、設定を正しく保存できないことがあります。

- プロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーター が消えていることを確認します。
- 空のUSBメモリーを、コピー元のプロジェクターのUSB-A端子に 2 直接接続します。
- リモコンのうボタンを押したまま、電源コードをプロジェク 3 ターに接続します。
- Ⅰ インジケーターがすべて点灯したら、 → ボタンを離します。

インジケーターが点滅に変わると、一括設定ファイルがUSBメモ リーに書き込まれます。書き込みが正常に終了すると、プロジェ クターがスタンバイ状態になります。

▲ 注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードやUSBメモ リーを取り外さないでください。電源コードやUSBメモリーを取り外 すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

USBメモリーを取り外します。 5



一括設定ファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。 ファイル名を変更するときは、半角英数字のみを使用して PJCONFDATAの後に文字列を追加します。ファイル名の PJCONFDATAの部分を変更すると、ファイルが正しく認識 できないことがあります。



コピー先のプロジェクターから電源コードを外し、すべてのイン ジケーターが消えていることを確認します。

一括設定ファイルが保存されているUSBメモリーを、コピー先の プロジェクターのUSB-A端子に接続します。

メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする(一括設定機能)

8

リモコンの⁽) ボタンを押したまま、電源コードをプロジェク ターに接続します。

9

2

インジケーターがすべて点灯したら、 (塗)ボタンを離します。

インジケーターが点滅に変わると、一括設定の書き込みが始まり ます。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバ イ状態になります。

▲ 注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードやUSBメモリーを取り外さないでください。電源コードやUSBメモリーを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

USBメモリーを取り外します。

コンピューターを使って一括設定する

コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して、同じ型 番のプロジェクターにメニュー設定をコピーできます。



・OS X 10.11.x以降



コンピューターのUSB端子とコピー元のプロジェクターの Service(USB Mini-B)端子を、USBケーブルで接続します。

- リモコンの^(つ)ボタンを押したまま、電源コードをプロジェク ターに接続します。
- 4 インジケーターがすべて点灯したら、 → ボタンを離します。 コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクと して認識されます。
- 5 リムーバブルディスクを開き、一括設定ファイルをコンピュー ターにコピーして保存します。
 - 一括設定ファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。 ファイル名を変更するときは、半角英数字のみを使用して PJCONFDATAの後に文字列を追加します。ファイル名の PJCONFDATAの部分を変更すると、ファイルが正しく認識 できないことがあります。
- 6 コンピューター上でUSB機器の取り外し(Windows)、またはリ ムーバブルディスクの取り出し(Mac)をします。
- USBケーブルを取り外します。 プロジェクターがスタンバイ状態になります。
- 3 コピー先のプロジェクターから電源コードを外し、すべてのイン ジケーターが消えていることを確認します。
- 9 USBケーブルを、コンピューターのUSB端子とコピー先のプロ ジェクターのService(USB Mini-B)端子に接続します。

10 リモコンの^(塗)ボタンを押したまま、電源コードをプロジェク ターに接続します。

メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする(一括設定機能)

11 インジケーターがすべて点灯したら、 (塗)ボタンを離します。

コンピュータートで、プロジェクターがリムーバブルディスクと して認識されます。

12 コンピューターに保存した一括設定ファイル (PJCONFDATA.bin)を、リムーバブルディスクの最上位のフォ ルダーにコピーします。

N 一括設定ファイル以外のファイルやフォルダーをリムーバ ブルディスクにコピーしないでください。

13 コンピューター上でUSB機器の取り外し(Windows)、またはリ ムーバブルディスクの取り出し(Mac)をします。

12 USBケーブルを取り外します。

インジケーターが点滅に変わると、一括設定の書き込みが始まり ます。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバ イ状態になります。

▲ 注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードを外さな いでください。電源コードを外すと、プロジェクターが正常に起動 しないことがあります。

▶ 関連項目

「一括設定でエラーが発生したときは」 p.75

一括設定でエラーが発生したときは

一括設定でエラーが発生したときは、インジケーターでお知らせしま す。インジケーターの状態をご確認ください。

インジケーターの状態	状態と対処方法
橙点滅	ー括設定ファイルに異常があるか、USBメモリーま たはUSBケーブルが正しく接続されていない可能性 があります。
	USBメモリーまたはUSBケーブルを取り外し、プロ ジェクターの電源コードを抜いて差し直してか ら、もう一度お試しください。
	問題が解決しないときは、電源プラグをコンセン トから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合 わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

プロジェクターをメンテナンスする

プロジェクターのメンテナンス方法について説明します。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターのメンテナンス」 p.77
- ・「レンズを清掃する」 p.78
- •「本機を清掃する」 p.79
- ・「エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする」 p.80

プロジェクターのレンズは定期的に掃除する必要があります。また、 エアフィルターや吸排気口も掃除して、本機の内部温度が上昇しない ようにしてください。

交換が必要な部品は、エアフィルターとリモコンの電池のみです。他 の部品を交換する必要があるときは、お買い上げの販売店またはお問 い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

▲ 警告

掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてから行っ てください。また、取扱説明書で指示している場合を除き、本機のケース を開けないでください。内部には電圧の高い部分が数多くあり、火災・感 電・事故の原因となります。 プロジェクターのレンズは定期的に掃除し、表面に付着したホコリや 汚れに気付いたときにも掃除してください。

- ・レンズのホコリや汚れは、市販のメガネ拭きなどで軽くふき取って ください。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布をレンズクリーナーで湿らせ、レンズを軽くふき取ります。レンズに液体を直接スプレーしないでください。

⚠ 警告

レンズに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用し ないでください。本機の内部は高温になっているため、引火による火災 の原因となります。

注意

レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいた りしないでください。また、エアダスターも使用しないでください。 本機の掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜い てください。

- ・本機のホコリや汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくし ぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。本機に液 体を直接スプレーしないでください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでくださ い。本機のケースが変質、変色することがあります。また、エアダス ターも使用しないでください。 エアフィルターは定期的にメンテナンスしてください。プロジェク ターの内部温度が高くなっていることを示すメッセージが表示された ら、エアフィルターを掃除してください。エアフィルターの掃除は 5,000時間を目安に行ってください。ホコリの多い環境でお使いの場合 は、より短い周期で掃除してください。(大気中に含まれる粒子物質 が0.04~0.2 mg/m3の環境下での使用を想定しています。)

注意

定期的にメンテナンスをしないと、プロジェクターの内部温度が高くなっ たときにメッセージが表示されます。内部の温度が上昇すると、故障や光 学部品の早期劣化の原因となります。メッセージが表示されたらすみやか にエアフィルターを掃除してください。

▶ 関連項目

- ・「エアフィルターと吸排気口を清掃する」 p.80
- ・「エアフィルターを交換する」 p.80

エアフィルターと吸排気口を清掃する

エアフィルターおよび吸排気口は、汚れたときや掃除を促すメッセー ジが表示されたときに掃除してください。

本機の電源を切り、電源コードを抜きます。

2 コンピューター用の小型掃除機か、柔らかいブラシでホコリを丁 寧に取り除きます。





エアフィルターは取り外しできるため、両面を掃除できま す。エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使 わないでください。

注意

エアダスターは使用しないでください。可燃性の物質が残留した り、精密部分にホコリが入り込むおそれがあります。

3 ホコリを取り除くことができない場合や、エアフィルターが破損している場合は、新しいエアフィルターと交換してください。

エアフィルターを交換する

以下の場合は、エアフィルターを交換してください。

・エアフィルターが破損している

本機は天吊り設置したままでもエアフィルターの交換ができます。

エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする

1

本機の電源を切り、電源コードを抜きます。

底面を上にします。

2

3

エアフィルターカバーを開けます。





プロジェクターからエアフィルターを抜き出します。



		使用済みのエアフィルターは、地域の廃棄ルールに従って 廃棄してください。 ・フィルターの枠:ABS
--	--	---

・フィルター:ポリウレタンフォーム







▶ 関連項目

・「消耗品」 p.96

81

困ったときに

想定されるトラブルと、その対処方法について説明します。

▶ 関連項目

- ・「トラブルの対処方法」 p.83
- ・「インジケーターの見方」 p.84
- ・「電源に関するトラブル」 p.86
- ・「映像に関するトラブル」 p.87
- ・「音声に関するトラブル」 p.90
- ・「リモコン操作に関するトラブル」 p.91
- ・「HDMIリンクに関するトラブル」 p.92
- ・「Screen Mirroringに関するトラブル」 p.93

- プロジェクターが正しく動作しないときは、一度電源を切り、電源 コードを差し直してから再度電源を入れます。
- 問題が解決しないときは、以下を確認します。
- ・インジケーターで本機の状態を確認する。
- ・本書のトラブル一覧で対処方法を確認する。

問題が解決しないときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先 に記載の連絡先にご相談ください。

インジケーターの見方

インジケーターは、本機の状態をお知らせします。インジケーターの 色と状態を確認し、以下の表から対処方法を確認してください。

各インジケーターがこの表にない状態のときは、ご使用をや め、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店ま たはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。



ステータスインジケーター

プロジェクターの状態

インジケーターの状態	状態と対処方法
青点灯	投写中の状態です。
青点滅	ウォームアップ中、シャットダウン中、またはクー ルダウン中です。
	ウォームアップ中の場合は、約30秒経つと映像が表 示されます。
	青点滅中は、リモコン操作ができないことがありま す。

インジケーターの状態	状態と対処方法	
消灯	スタンバイ状態またはスリープモードです。 電源ボタンを押すと、投写を開始します。	
橙点灯	 内部高温異常(オーバーヒート)状態です。自動的に消灯し、投写できなくなります。電源を切った物態で5分間待ち、温度を下げます。 エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 高温にならない環境で使用するようにします。 エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問いたわせ先に記載の連絡先にご相談ください。 	
	レーザー警告です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、 お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の 連絡先にご相談ください。	
橙点滅	レーザー異常です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、 お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の 連絡先にご相談ください。	
	ファン異常またはセンサー異常状態です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、 お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の 連絡先にご相談ください。	
	内部異常状態です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、 お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の 連絡先にご相談ください。	

インジケーターの見方

▶ 関連項目

- ・「設定メニュー」 p.67
- ・「エアフィルターと吸排気口を清掃する」 p.80
- ・「エアフィルターを交換する」 p.80

電源に関するトラブルの対処方法を確認してください。

- ▶ 関連項目
- ・「電源が入らない」 p.86
- •「予期せず電源が切れる」 p.86

電源が入らない

電源ボタンを押しても本機の電源が入らないときは、次の対処方法を 確認してください。

- 電源コードが本機とコンセントに確実に接続されていることを確 1 認します。
- リモコンの電池を確認します。 2
- 電源コードが故障している可能性があります。電源コードを抜い 3 て、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に ご相談ください。
- ▶ 関連項日
- ・「プロジェクターの電源を入れる」 p.26
- ・「リモコンに電池を取り付ける」 p.23

予期せず電源が切れる

本機の光源が予期せずに消えるときは、次の対処方法を確認してくだ さい。



一定時間操作が行われなかったため、スリープモードになってい る可能性があります。いずれかのボタンを押して、スリープモー

- ドから復帰します。スリープモードを無効にするには、「スリー プモード]を「オフ」にします。
- [設定] > 「動作] > 「スリープモード]
- 2

ステータスインジケーターが橙色に点灯しているときは、本機の 内部高温異常(オーバーヒート)で電源がオフになっています。



▶ 関連項日

・「設定メニュー」 p.67

投写映像に関するトラブルの対処方法を確認してください。

▶ 関連項目

- 「映像が表示されない」 p.87
- •「映像がゆがむ」 p.87
- •「映像がぼやける」 p.88
- 「映像の一部が表示されない」 p.88
- ・「映像にノイズが入る、乱れる」 p.89
- ・「映像の明るさや色合いが違う」 p.89
- ・「映像が上下反転して表示される」 p.89

映像が表示されない

映像が表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- 本機の状態を確認します。
 - リモコンの(物)ボタンを押して、映像が一時的に消されていないか確認します。
 - ・ インジケーターの色と状態を確認します。
 - スタンバイ状態、スリープモードから復帰するには、本機の電 源ボタンを押します。
 - [設定] > [動作] > [スリープモード]
- 🤈 ケーブルの接続を確認します。
 - ・ 必要なケーブルがすべて接続されていること、本機の電源が入っていることを確認します。
 - ・ 本機とビデオ機器を直接接続してください。
 - ・ HDMIケーブルが長いときは、短いケーブルで接続します。

- BŁ
 - ビデオ機器の状態を確認します。
 - ビデオ機器の電源が入っていることを確認し、再生ボタンを押してコンテンツを再生してみます。
 - ・ 接続機器がHDMI CEC規格に準拠しているか確認します。詳し くは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
 - ノート型コンピューターから投写するときは、コンピューターの画面出力を切り替えて、プロジェクターに映像を表示します。
- ハの点を確認します。
 - 本機、および接続されたビデオ機器の電源を一度切ってから、
 再度電源を入れます。
 - ・ビデオ機器のCEC電源連動機能を有効にして、電源を入れ直します。
 - コンピューターのディスプレイ解像度が本機の対応解像度、周 波数と合っているか確認します。必要に応じて、コンピュー ターのディスプレイ解像度を変更します。(詳しくはお使いの コンピューターの取扱説明書をご覧ください。)
 - ・ 本機のすべての設定を初期化します。
 - ☞ 〔初期化〕 > 〔全初期化〕
- ▶ 関連項目
- ・「設定メニュー」 p.67
- ・「初期化メニュー」 p.72

映像がゆがむ

投写画面がゆがむときは、次の対処方法を確認してください。

映像に関するトラブル



投写面に対してプロジェクターを平行に設置します。

2

[台形補正] で映像のゆがみを補正します。

- [設定] > [台形補正] > [タテヨコ]
- ☞ [設定] > [台形補正] > [Quick Corner]

▶ 関連項目

- ・「設定メニュー」 p.67
- ・「台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する」 p.32
- 「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 p.33

映像がぼやける

投写映像がぼやけるときは、次の対処方法を確認してください。



フォーカスレバーで映像のピントを合わせます。



次の点を確認します。

- ・投写距離の推奨範囲内に設置します。
- ・映像の高さ調整のために本機の傾斜角度を大きくすると映像が ゆがみます。傾斜角度を小さくして台形補正の調整値を小さく します。
- 🖪 本機のレンズを掃除します。



- ④ [画質・映像] メニューで [シャープネス] を調整して、投写映像の画質を上げます。
- **5** コンピューターから映像を投写しているときは、解像度を下げるか、本機の解像度に合わせて解像度を変更します。

▶ 関連項目

- •「画質・映像メニュー」 p.65
- ・「フォーカスレバーで映像のピントを調整する」 p.35
- ・「レンズを清掃する」 p.78

映像の一部が表示されない

コンピューターの映像が部分的にしか表示されないときは、次の対処 方法を確認してください。

- [ズーム] 設定で映像を拡大/縮小したときは、映像全体が表示 されるまで
 ボタンを押します。
- 2 正しい設置モードを選択していることを確認します。 [設定] メ ニューの [設置モード] で選択できます。
 - [設定] > [設置] > [設置モード]
- 3 コンピューターのディスプレイ設定でデュアルディスプレイが無効になっているか、本機の対応解像度に合った設定がされているか確認します。(詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。)

▶ 関連項目

・「設定メニュー」 p.67

映像にノイズが入る、乱れる

投写映像に電子的な干渉(ノイズ)や妨害が入るときは、次の対処方 法を確認してください。

- 本機とビデオ機器を接続しているケーブルの状態を確認します。
 ケーブルが以下の状態であることを確認してください。
 - 干渉を受けないように、電源コードから離れている
 - ・ ケーブルの両端が確実に接続されている
 - 延長ケーブルを使用していない
- 2 映像のゆがみを補正したときは、 [画質・映像] メニューで [シャープネス] を低い値に設定して、投写映像の画質を向上さ せます。
- 3 延長ケーブルを使用して電源に接続しているときは、延長ケーブ ルを使わずに投写して、映像にノイズが入らないか確認します。
- コンピューターのディスプレイ解像度やリフレッシュレートが本 機の対応解像度、リフレッシュレートと合っているか確認しま す。
- ▶ 関連項目
- ・「画質・映像メニュー」 p.65

映像の明るさや色合いが違う

投写映像が暗すぎたり明るすぎるとき、また色合いが正しく表示され ないときは、次の対処方法を確認してください。

- [画質・映像] メニューの [カラーモード] で、映像と投写環境 に合うカラーモードを選択します。
- ? お使いのビデオ機器の設定を確認します。
- 3 [画質・映像] メニューで [明るさ] 、 [コントラスト] 、 [色 合い] 、 [色の濃さ] などを設定します。
 - [画質・映像] > [明るさ設定]
 - ☞ [画質・映像] > [色設定]
- 4 [画質・映像] メニューで [ビデオレンジ] を正しく設定しま す。
 - [画質・映像] > [ビデオレンジ]
- 5 必要なケーブルが本機とビデオ機器に確実に接続されていること を確認します。ケーブルが長いときは、短いケーブルで接続しま す。
- 6 投写距離の推奨範囲内に設置します。
- ▶ 関連項目
- ・「画質・映像メニュー」 p.65

映像が上下反転して表示される

正しい設置モードを選択します。

- [設定] > [設置] > [設置モード]
- ▶ 関連項目
- ・「設定メニュー」 p.67

音声に関するトラブル

音が出ない、小さすぎるなどの問題があるときは、次の対処方法を確認してください。

- 1 リモコンの⁽¹⁾ボタンまたは⁽¹⁾ボタンを押して音量を調整します。
- 2 本機とビデオ機器のケーブルが正しく接続されているか確認します。
- 3 一時的に映像と音声を消したときは、リモコンの⁽¹⁾ボタンを押して、映像と音声を再開します。
- ビデオ機器の以下の設定を確認します。
 - ・ビデオ機器の音量が大きくなっているか、音声出力が正しく設 定されているか確認します。
 - ・接続機器の音声出力をPCMに設定します。
 - MacとプロジェクターをHDMIケーブルで接続していて音が出ないときは、MacがHDMI端子からの音声出力に対応しているか確認します。

▶ 関連項目

・「設定メニュー」 p.67

リモコン操作に関するトラブル

本機がリモコン操作に反応しないときは、次の対処方法を確認してください。



リモコンを紛失したときは、新たにリモコンをお買い求めいた だけます。



- リモコンの電池が正しくセットされていること、電池が切れてい ないことを確認します。必要に応じて、電池を交換します。
- 2 リモコンのボタンが押し込まれた状態になっていないか確認します。その状態ではリモコンが操作できないことがあります。ボタンを元の状態に戻してください。
- 3 リモコン信号が届く距離、角度からリモコンを操作します。
- 4. インジケーターの色と状態を確認します。
- 5 蛍光灯の強い光、直射日光、赤外線機器の信号が、本機のリモコン受光部に干渉することがあります。照明の明るさを落とす、または直射日光や赤外線干渉を避けられる場所に本機を移動してください。

▶ 関連項目

・「リモコンを操作する」 p.23

HDMIリンクに関するトラブル

HDMIリンクで接続機器を操作できないときは、次の対処方法を確認してください。



お使いのケーブルがHDMI CEC規格に準拠しているか確認します。



3 接続機器が [接続機器一覧] に表示されているか確認します。 HDMI CEC規格に準拠していない機器は [接続機器一覧] に表示 されません。HDMI CEC規格に準拠した機器をお使いください。

● [設定] > [動作] > [HDMIリンク] > [接続機器一覧]

HDMIリンクを使うために必要なケーブルがすべて接続されていることを確認します。



接続機器の電源がスタンバイ状態になっているか確認します。詳 しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

6 新しく機器を接続したり、接続を変更した後に操作できないとき は、接続機器のCEC機能を設定し直して、再起動します。

▶ 関連項目

・「設定メニュー」 p.67

Screen Mirroringの投写映像に関するトラブルの対処方法を確認してください。。

▶ 関連項目

- ・「Screen Mirroringで接続できない」 p.93
- ・「Screen Mirroringの映像にノイズが入る、乱れる」 p.93

Screen Mirroringで接続できない

Screen Mirroringでプロジェクターに接続できないときは、次の対処方法を確認してください。

プロジェクターの設定を確認します。

- [Screen Mirroring] を [オン] に設定します。
 - [設定] > [動作] > [Screen Mirroring]
- 「ディスプレイ名」を変更します。ディスプレイ名に「-」が 含まれると、モバイルデバイスで正しく表示されないことがあ ります。
 - [設定] > [動作] > [Screen Mirroring設定] > [ディス プレイ名]
- [Screen Mirroring] を [オフ] 設定し、再度 [オン] に設定し ます。
- ・ [動作モード] を切り替えて、接続します。
 - [設定] > [動作] > [Screen Mirroring設定] > [動作 モード]
- [割り込み接続] の設定を確認して、他のモバイルデバイスが 割り込み接続していないことを確認します。
 - [設定] > [動作] > [Screen Mirroring設定] > [拡張設
 定] > [割り込み接続]

- ・ 周囲の無線LAN状況に応じて、 [チャンネル] の設定を変更します。
 - [設定] > [動作] > [Screen Mirroring設定] > [拡張設
 定] > [チャンネル]

2 モバイルデバイスの設定を確認します。

- モバイルデバイスの設定が正しいことを確認します。
- 接続を終了した直後に再接続するときは、接続までに時間がか かることがあります。しばらくしてから再接続します。
- モバイルデバイスを再起動します。
- 一度Screen Mirroringで接続すると、モバイルデバイスに本機の 接続情報が記録されることがありますが、この画面からは再接 続できないことがあります。接続可能なデバイスの一覧から、 再度本機を選択してください。

Screen Mirroringの映像にノイズが入る、乱れる

Screen Mirroringでモバイルデバイスから投写した映像・音声が乱れる ときは、次の対処方法を確認してください。

モバイルデバイスの設定を確認します。

- モバイルデバイスのWi-Fiアンテナ部分を隠さないようにします。
- モバイルデバイスでScreen Mirroringとインターネット接続を同時に行うと、映像が止まったり、ノイズが入ったりすることがあります。無線帯域を確保し、モバイルデバイスの通信速度を向上させるために、インターネット接続を停止します。
- モバイルデバイスの設定によっては、パワーセーブ時に接続が 切れることがあります。デバイスの省電力設定などを確認しま す。

Screen Mirroringに関するトラブル

 モバイルデバイスの無線ドライバーやファームウェアを最新の 状態に更新します。



2 Screen Mirroringで投写できるコンテンツであることを確認します。

- ▶ 関連項目
- ・「設定メニュー」 p.67

付録

本機の仕様や使用上の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

▶ 関連項目

- ・「オプション・消耗品一覧」 p.96
- ・「スクリーンサイズと投写距離」 p.97
- •「対応解像度」 p.99
- ・「本機仕様」 p.100
- ・「外形寸法図」 p.101
- ・「安全規格対応シンボルマークと説明」 p.102
- ・「レーザー製品を安全にお使いいただくために」 p.104
- ・「用語解説」 p.105
- ・「一般のご注意」 p.106

オプション・消耗品一覧

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い 求めください。

これらのオプション品は2020年8月現在のものです。

予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

- ▶ 関連項目
- ・「設置用金具」 p.96
- ・「外付けオプション」 p.96
- ・「消耗品」 p.96

設置用金具

- マウントプレート ELPMB65 VESA規格対応金具や三脚に取り付けるときに使います。
- セーフティーワイヤーセット ELPWR01

落下防止のため、本機と天吊り金具をつなぐときに使います。

天吊り設置には特別な技術が必要です。詳細はお買い上げの販 売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

▶ 関連項目

・「プロジェクターをVESA対応製品や三脚に取り付ける」 p.17

外付けオプション

Android TV[™] 端末 ELPAP12

オンラインコンテンツを視聴するときに使います。

消耗品

エアフィルター ELPAF61 使用済みエアフィルターと交換します。

▶ 関連項目

・「エアフィルターを交換する」 p.80

スクリーンサイズと投写距離

この表に従って、スクリーンからプロジェクターまでの距離を、投写 映像の大きさに応じて決めます。





16:9スクリーンサイズ		0	2
		最短(ワイド)〜最 長(テレ)	
50型	111 × 62	110 - 150	0
60型	133 × 75	133 - 181	0
70型	155 × 87	156 - 212	0
80型	177 × 100	179 - 243	0
90型	199 × 112	202 - 273	0
100型	221 × 125	224 - 304	0
120型	266 × 149	270	0
150型	332 × 187	338	0

16:10スクリーンサイズ		0	2
		最短(ワイド)〜最 長(テレ)	
30型	65 × 40	70 - 96	0
40型	86 × 54	95 - 130	0
50型	108 × 67	120 - 163	0
60型	129 × 81	144 - 196	0
70型	151 × 94	169 - 229	0
80型	172 × 108	194 - 262	0
90型	194 × 121	218 - 296	0
100型	215 × 135	243 - 329	0
120型	258 × 162	292	0
130型	280 × 175	317	0
140型	302 × 188	341	0

- 投写距離(cm)
- レンズ中心からスクリーン下端(天吊りの場合はスクリーン上端)までの高さ(cm)
- レンズ中心

16:9スクリーンサイズ		0	2
		最短(ワイド)〜最 長(テレ)	
30型	66 × 37	65 - 89	0
40型	89 × 50	88 - 120	0

スクリーンサイズと投写距離

4:3スクリーンサイズ		0	2
		最短(ワイド)〜最 長(テレ)	
30型	61 × 46	80 - 109	0
40型	81 × 61	108 - 147	0
50型	102 × 76	136 - 185	0
60型	122 × 91	164 - 222	0
70型	142 × 107	192 - 260	0
80型	163 × 122	220 - 298	0
90型	183 × 137	247 - 335	0
100型	203 × 152	275	0
120型	244 × 183	331	0

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
VGA	60	640 × 480
SDTV (480i/480p)	59.94	720 × 480
SDTV (576i/576p)	50	720 × 576
HDTV (720p)	50/59.94/60	1280 × 720
HDTV (1080i)	50/59.94/60	1920 × 1080
HDTV (1080p)	23.98/24/29.97/30/50/59.94/60	1920 × 1080

商品名	EF-11	
外形サイズ	幅175 × 高さ58 × 奥行き175 mm(突起部を含ま ず)	
液晶パネルサイズ	0.62"	
表示方式	ポリシリコンTFT アクティブマトリクス	
解像度	2,073,600 ピクセル	
	Full HD(横1,920 × 縦1,080ドット) × 3	
フォーカス調整	手動	
ズーム調整	1.0 - 1.35(デジタル)	
光源	レーザーダイオード	
光源出力	最大22.5 W	
波長	449 - 461nm	
光源寿命 *	レーザーライト出力が100%の場合:最大約12,000 時間 レーザーライト出力が50%の場合:最大約20,000 時間	
音声最大出力	1.5 W	
スピーカー	モノラル(2ウェイ)	
電源	24V DC 4.1A	
動作時消費電力	102 W	
待機時消費電力	0.4 W	
動作高度	標高 0~3,000 m	
動作温度範囲	標高 0~2,286 m:+5~+35℃(結露しないこと)	
	標高 2,287~3,000 m:+5~+30℃(湿度20~80%、 結露しないこと)	
保存温度範囲	-10~+60°C(湿度10~90%、結露しないこと)	
質量	約1.3kg	

* 光源の明るさが半減するまでの目安時間です。(大気中に含まれる 粒子物質が0.04~0.2mg/m3の環境下での使用を想定しています。使用 条件や使用環境によって目安時間は変動します。)

▶ 関連項目

- ・「ACアダプター」 p.100
- •「接続端子」 p.100

ACアダプター

メーカー	EPSON
型番	AD10370LF
入力	100-240V AC±10% 50/60Hz 1.75A
出力	24.0V DC 5.0A 120.0W

接続端子

Audio Out端子	1系統	ステレオミニピンジャック
HDMI端子	1系統	HDMI
USB-A端子	1系統	USBコネクター(Aタイプ)
Service端子	1系統	USBコネクター(Mini-B)



- レンズ中心
- ❷ レンズ中心から天吊り固定部までの寸法



単位: mm

製品上にシンボルマークが表示されている場合は、それぞれ以下の意 味を持っています。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
0		IEC60417 No. 5007	電源ON 電源への接続を示す。
2	0	IEC60417 No. 5008	電源OFF 電源からの切り離しを示す。
3	С С	IEC60417 No. 5009	スタンバイ 機器・装置の一部だけを通電状態 にし、機器・装置を待機状態にす るためのスイッチまたはその位置 を示す。
4	\triangle	ISO7000 No. 0434B, IEC3864-B3.1	注意 製品取扱時の全般的な注意を示 す。
6		IEC60417 No. 5041	注意(高温) 高温の可能性があり、不注意に触 れない方がよい箇所であることを 示す。
6		IEC60417 No. 6042 ISO3864-B3.6	注意(感電危険) 感電(電撃)の危険性がある機 器・装置であることを示す。
	\sum	IEC60417 No. 5957	屋内専用 屋内使用専用を目的とする電気機 器・装置であることを表す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
8	◈●�	IEC60417 No. 5926	直流電源コネクタ極性 直流電源を接続してもよい機器の プラスおよびマイナス電極の接続 を示す。
9	$\bigcirc \textcircled{\bullet} \textcircled{\bullet} \textcircled{\bullet}$	_	No. 8と同じ
0		IEC60417 No. 5001B	電池(一般) 電池を電源とする機器・装置に使 用する。電池装着部分のカバーま たは接続端子を示す。
0	(+	IEC60417 No. 5002	電池の向き 電池ケース本体および電池ケース 内での向きを示す。
(2)	(+ –	_	No. 11と同じ
3		IEC60417 No. 5019	保護接地 障害発生時の電撃(感電)保護用 外部導体への接続端子または保護 接地極の端子であることを示す。
12	Ţ	IEC60417 No. 5017	アース No. 13の使用が明示的に要請されな い場合の接地(アース)端子であ ることを示す。
(5)	\langle	IEC60417 No. 5032	交流 交流専用の機器・装置であり、交 流に対応する端子であることを示 す。

安全規格対応シンボルマークと説明

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
6		IEC60417 No. 5031	直流 直流専用の機器・装置であり、直 流に対応する端子であることを示 す。
		IEC60417 No. 5172	クラス 機器 JIS C 9335-1/JIS C 8105-1でクラス 機器と規定した安全性要求事項に 適合する機器・装置であることを 示す。
8	\oslash	ISO 3864	一般的な禁止 特定しない一般的な禁止通告を示 す。
19		ISO 3864	接触禁止 機器の特定の場所に触れることに よって傷害が起こる可能性がある 場合の禁止通告を示す。
20	∢- ¥→⋛ Ӷ	_	プロジェクター動作中の投写レン ズ覗きこみ禁止を示す。
2	₽≣X	_	プロジェクターの上に物を置いて はならないことを示す。
22		ISO3864 IEC60825-1	注意(レーザー放射) 製品上に注意が必要なレベルの レーザー放射部があることを示 す。
23		ISO 3864	分解禁止 機器を分解することで感電などの 傷害が起こる可能性がある場合の 禁止通告を示す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
24	Ü	IEC60417 No. 5266	待機、一部待機 機器・装置の一部が準備状態であ ることを示す。
25		ISO3864 IEC60417 No. 5057	注意(可動部品) 保護規定上、可動部品から離れな ければならないことを示す。
26		IEC60417 No. 6056	注意(可動ファンのブレード) 保護規定上、可動部品から離れな ければならないことを示す。
2)	A.	IEC60417 No. 6043	注意(鋭利な角) 保護規定上、鋭利な角には触れて はいけないことを指示する。
28			プロジェクター動作中の投写レン ズ覗きこみ禁止。
29	*	ISO7010 No. W027 ISO 3864	警告、光放射(UV、可視光、IR など) 光放射の近くにいるときは、目や 肌に負傷を与えないように注意し てください。
60	\mathbf{X}	IEC60417 No. 5109	居住区域使用禁止 居住区域での使用に適さない電気 機器・装置であることを示す。

レーザー製品を安全にお使いいただくために

本機はJIS C 6802:2014に適合したクラス1レーザー製品です。

以下の注意事項を必ず守ってご使用ください。

⚠ 警告

- 本機のケースを開けないでください。内部に高出力レーザー製品が組み 込まれています。
- 本機の光源を直接見ないでください。強い光が視力障害などの原因となります。

\Lambda 注意

本機を廃棄する場合は分解しないでください。国や地域の廃棄ルールに 従って廃棄してください。

```
◆ 本機の光源はレーザーを使用しています。レーザーには以下の
ような特性があります。
```

- ・使用環境によって、光源の輝度が低下します。温度が高くなる ほど、輝度の低下が大きくなります。
- ・使用時間の経過にともない、光源の輝度が低下します。使用時 間と輝度低下の関係は明るさ設定で変更できます。

▶ 関連項目

・「レーザー警告ラベル」 p.104

レーザー警告ラベル

本機の内部および側面にはレーザー警告ラベルが貼られています。



内部

外部

投写中は、光源から放射されるレーザービームをのぞかないでください。 (RG2 IEC/EN 62471-5:2015に準拠)





104

本書で使用している用語で、本文中に説明がないものや難しいものを 簡単に説明します。詳細は市販の書籍などでご確認ください。

アスペクト比	画面の横と縦の比率をいいます。 横:縦の比率が16:9の、HDTVなどの画面をワイド画面と いいます。 SDTVや、一般的なコンピューターのディスプレイのアス ペクト比は4:3です。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、 文字や絵がはっきり見えたり、ソフトに見えたりするこ とです。この調整をコントラストの調整といいます。
Full HD	画面サイズの規格で、横1,920ドット × 縦1,080ドットのも のを呼びます。
HDCP	High-bandwidth Digital Content Protectionの略です。 DVIやHDMI端子を経由して送受信するデジタル信号を暗号 化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術です。 本機のHDMI端子はHDCPに対応しているため、HDCP技術 で保護されたデジタル映像を投写できます。 ただし、HDCPの規格変更等が行われたときは、変更後の 規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合 があります。
HDMI [™]	High Definition Multimedia Interfaceの略で、デジタル家電 やコンピューター向けの規格です。HD映像とマルチチャ ンネルオーディオ信号をデジタル伝送できます。 デジタル信号を圧縮せず高品質のまま転送できます。デ ジタル信号の暗号化機能もあります。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精 細なシステムに適用されます。 ・ 垂直解像度720p、1080i以上(pはプログレッシブ走査、 iはインターレース走査) ・ 画面のアスペクト比は16:9

リフレッシュ レート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間 保持します。
	そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も 画像を走査しなければなりません。
	その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ(Hz)で 表します。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満た さない標準テレビ放送のことです。
VGA	画面サイズの規格で、横640ドット × 縦480ドットのもの を呼びます。
WXGA	画面サイズの規格で、横1,280ドット × 縦800ドットのも のを呼びます。

一般のご注意

本機をお使いの際の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

▶ 関連項目

- ・「使用限定について」 p.106
- ・「本機を日本国外へ持ち出す場合の注意」 p.106
- ・「瞬低(瞬時電圧低下)基準について」 p.106
- •「JIS C 61000-3-2適合品」 p.106
- •「商標について」 p.106
- ・「ご注意」 p.107
- ・「著作権について」 p.107

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・ 防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼 性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステ ム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設 計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた 上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航 空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて 高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませ んので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確 認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

日本国内向けの本製品を海外で利用した場合は、保証の対象外となります。国内で販売する本製品は、日本国内使用を意図した安全規格基準のみ対応しているため、日本国以外でのご使用は違法となる場合があります。また、国や地域によっては電波使用制限があるた

- め、ネットワーク機能を海外で使った場合、罰せられることがあり ます。
- ・電源コードは日本国内向けの電源仕様に基づき同梱されています。
 本機を日本国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源
 電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源
 コードを現地にてお求めください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じる ことがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源 装置などを使用されることをお薦めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

商標について

「EPSON」はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。「EXCEED YOUR VISION」およびそのロゴはセイコーエプソン株式会社の登録商標 または商標です。

Mac、OS X、macOSは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Android、Android TVはGoogle LLCの商標です。

App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。

一般のご注意

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標、または登録商標です。 **Hコ**の

Wi-Fi[®]、Miracast[®]はWi-Fi Alliance[®]の商標です。

Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

Android TV[™]はGoogle LLC.の商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合で も、これを十分尊重いたします。

ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。

(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不 審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいます ようお願いいたします。

(4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わず に取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い 合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因 して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承く ださい。

(6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

(7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

© 2020 Seiko Epson Corporation

2020.8 414042700JA